

さいたま市
岩槻人形博物館
年報

第 1 号

令和元年度・令和 2 年度
令和 3 年度・令和 4 年度・令和 5 年度



岩槻人形博物館
IWATSUKI NINGYO MUSEUM

さいたま市 岩槻人形博物館 年報

第1号

令和元年度・令和2年度

令和3年度・令和4年度・令和5年度



目 次

I	概 要	3
1	設立の経緯	3
2	沿 革	3
3	組 織	4
4	さいたま市岩槻人形博物館運営委員会	4
5	さいたま市人形資料等選考評価委員会	5
6	施 設	6
7	展示室	6
II	展覧会事業	8
1	常設展	8
2	特別展・企画展等	9
III	普及事業	35
1	講座・ワークショップ	35
2	学校見学	36
3	ボランティアの活動	37
4	イベント	38
5	館外イベント出展事業	38
IV	調査研究・資料収集・保存事業	39
1	調査研究	39
2	購入資料	39
3	寄贈資料	39
4	資料修復	39
5	資料利用	40
V	広報活動	41
1	ニュースレター「IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS」	41
2	展覧会スケジュール	41
3	SNS	41
4	WEBサイト	41
5	主な広報実績	42
VI	入館者数	43
VII	ミュージアムグッズ	44
VIII	条例・規則	46

I 概 要

1 設立の経緯

さいたま市岩槻区は、日本有数の人形の生産地として知られている。岩槻の人形作りは主として近代以降、地場産業として定着したものであるが、そこに息づく人形作りの技は江戸時代に生まれた伝統の技を引き継いでいる。昭和53年（1978）には東京都内9区とさいたま市岩槻区（当時：岩槻市）を中心とした地域を主要製造地とした「江戸木目込人形」が、また平成19年（2007）には岩槻産の衣裳着人形についても「岩槻人形」の名目で経済産業大臣指定の伝統的工芸品となった。さらに「まちかど雛めぐり」や「人形供養祭」などの人形に関するイベントも数多く行われ、日々の生活の中に人形が身近なものとして根付いている。

この貴重な地域資源である人形文化は、「さいたま市総合振興計画」を上位計画として策定した「さいたま市文化芸術振興計画」において、さいたま市の文化を担う大きな要素として位置付けられ、以降、現在の「さいたま市文化芸術都市創造計画」にもその考え方が継承されている。

こうした経緯を踏まえて、平成29年（2017）度に「（仮称）岩槻人形博物館基本計画」を策定し、開館準備をすすめる。岩槻人形博物館は“人形のまち 岩槻”の地に、人と人形の歴史を調査・研究し、その成果を展示などを通じて市民を中心とする人々に広く公開することで、人々の人形への親しみを醸成し、人形文化を未来へと継承する人形文化の拠点施設として、令和2年（2020）2月22日に開館した。

2 沿 革

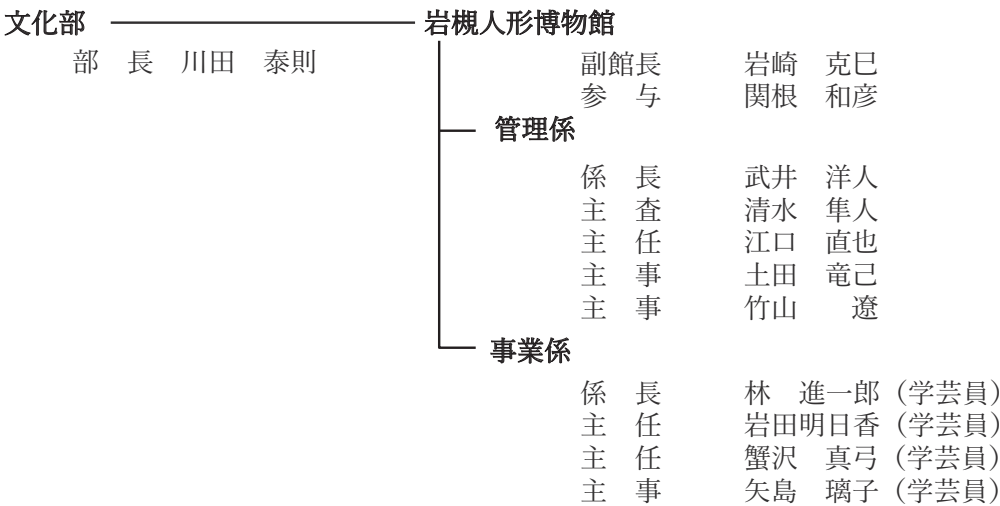
平成17年 4月	さいたま市と岩槻市が合併
平成18年 3月	「さいたま市文化芸術振興計画」策定
平成18年 6月	岩槻人形協同組合がさいたま市に西澤笛畝コレクションを寄贈
平成20年 3月	「（仮称）岩槻人形会館整備基本構想・基本計画」策定
平成20年 4月	文化施設建設準備室設置
平成21年 5月	（仮称）岩槻人形会館開設準備委員会設置
平成22年 5月	岩槻城址公園に隣接した建設予定地を取得
平成22年12月	着工延期
平成24年 1月	岩槻区役所がWATSU東館へ移転
平成24年11月	「岩槻まちづくりマスタープラン」策定
平成27年 4月	さいたま市人形資料等選考評価委員会条例制定
平成27年 6月	「旧岩槻区役所敷地利用計画」策定
平成29年 5月	「（仮称）岩槻人形博物館基本計画」策定
平成29年12月	着工
平成30年 3月	さいたま市岩槻人形博物館条例制定
平成31年 2月	竣工
令和 2年 2月	さいたま市岩槻人形博物館条例施行規則制定 さいたま市岩槻人形博物館運営委員会規則制定 さいたま市岩槻人形博物館開館（2月22日）

令和 2年 3月 累計来館者数1万人到達
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3月2日から6月1日まで臨時休館
 令和 5年 3月 累計来館者数10万人到達

3 組 織

さいたま市
 スポーツ文化局

局 長 鶴田 達也



(令和6年3月31日現在)

館 長 林 宏一 (令和2年2月22日～令和3年3月31日)
 田中 裕子 (令和3年4月1日～)

4 さいたま市岩槻人形博物館運営委員会

さいたま市岩槻人形博物館条例に基づき、岩槻人形博物館の運営方針及び事業計画を調査審議するため、同委員会を設置した。

(1) さいたま市岩槻人形博物館運営委員会委員名簿（9名）

	氏 名	備 考
委 員 長	新 井 久 代	公益財団法人遠山記念館 学芸員
副 委 員 長	是 澤 博 昭	大妻女子大学 教授
委 員	大 越 久 子	埼玉県立近代美術館 主任専門員
委 員	小 野 寺 秀 一	東武鉄道株式会社 岩槻駅長
委 員	中 村 美 帆	青山学院大学 准教授
委 員	抜 井 ゆ かり	立教大学 兼任講師
委 員	水 落 恵 一	NPO法人岩槻・人形文化サポーターズ 理事
委 員	三 次 宣 夫	岩槻区自治会連合会 会長
委 員	森 田 由 美 子	岩槻人形協同組合 婦人部長

(令和6年3月4日現在)
 ※委員以下五十音順

(2) 開催状況

年 度	回	期 日	場 所
令和2年度	第1回	令和2年7月15日（水）	にぎわい交流館いわつき多目的室
	第2回	令和3年3月23日（火）	にぎわい交流館いわつき多目的室
令和3年度	第1回	令和3年7月27日（火）	にぎわい交流館いわつき多目的室
	第2回	令和4年1月19日（水）～31日（月）	書面による開催
令和4年度	第1回	令和4年9月 1日（木）	にぎわい交流館いわつき多目的室
	第2回	令和5年3月 8日（水）	岩槻人形博物館会議室
令和5年度	第1回	令和5年8月22日（火）	岩槻人形博物館会議室
	第2回	令和6年3月 4日（月）	岩槻人形博物館会議室

5 さいたま市人形資料等選考評価委員会

さいたま市人形資料等選考評価委員会条例に基づき、人形資料等の収集を適正に行い、資料の選考及び評価を行うため、同委員会を設置した。

(1) さいたま市人形資料等選考評価委員会委員名簿（6名）

	氏 名	備 考
委 員 長	是 澤 博 昭	大妻女子大学 教授
委員長職務代理	新 井 久 代	公益財団法人遠山記念館 学芸員
委 員	小 林 祐 子	公益財団法人三井文庫 三井記念美術館 学芸課長
委 員	長 崎 巖	共立女子大学 教授
委 員	日 野 原 健 司	公益財団法人太田記念美術館 主席学芸員
委 員	本 橋 浩 介	佐倉市立美術館 副主幹

（令和6年2月13日現在）

※委員以下五十音順

(2) 開催状況

年 度	回	期 日	場 所
令和2年度	第1回	令和2年8月25日（火）	岩槻人形博物館会議室
	第2回	令和3年1月19日（火）	岩槻人形博物館会議室
令和3年度	第1回	令和3年8月24日（火）	岩槻人形博物館会議室
	第2回	令和4年1月24日（月）	岩槻人形博物館会議室
令和4年度	第1回	令和4年8月 4日（木）	岩槻人形博物館会議室
令和5年度	第1回	令和6年2月13日（火）	岩槻人形博物館会議室

6 施 設

(1) 建物概要

所在地 さいたま市岩槻区本町6-1-1
敷地面積 7,543.41㎡
延床面積 2,029.07㎡
構 造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
(地上1階)

(2) 主要施設

主 要 室 展示室1、展示室2、展示室3、会議
室、ロビー、オープングャラリー、
ミュージアムショップ、事務室、収
蔵庫

(3) 整備事業費

建設費 1,867,320,000円
展示設計・展示製作 379,642,000円
工 期 平成29年12月～平成31年2月
設 計 戸田・松永特定共同企業体
建設工事
建築・外構工事 戸田・松永特定共同企業体
機械設備工事 戸田・松永特定共同企業体
電気設備工事 戸田・松永特定共同企業体
展示設計・展示製作 株式会社丹青社

(4) 収蔵庫概要

面 積：収蔵庫 230.59㎡
収蔵庫前室 38.27㎡
一時保管庫 44.65㎡
空 調：
収蔵庫 エアーハンドリングユニット
収蔵庫前室 エアーハンドリングユニット
一時保管庫 エアーハンドリングユニット
※室内に温湿度記録計を設置
温湿度設定
温度：22℃±1℃ 湿度：55%±5%
警備設備：カード感知式及び電気錠
火災報知：自動火災報知設備
消火設備：イナージェンガス消火

7 展示室

当館の展示室は、展示室1「埼玉の人形作り」、
展示室2「コレクション展示 日本の人形」、展
示室3（企画展示室）から構成されている。

(1) 展示室1

面 積：28.48㎡
天井高：2.7m
設 備：
壁付きケース（エアタイト式） 1基
展示ステージ 1基
アクリルケース 1基
32インチタッチモニター 1台

空 調：
電熱式加湿器、24時間遠隔温湿度管理
ケース内に調湿材を併用
※ケース内に温湿度記録計を設置
温湿度設定
夏期 温度22℃±1℃ 湿度55%±5%
冬期 温度24℃±1℃ 湿度55%±5%

警備設備：
開館時 受付・監視員による巡視、監視カメラ設置
閉館時 機械警備（赤外線検知式）
火災報知：自動火災報知設備
消火設備：イナージェンガス消火
照明設備：照明器具
調光調色スポットライト、天井ダウンライト等

(2) 展示室2

面 積：181.33㎡
天井高：3.5m
設 備：
壁付きケース（エアタイト式） 5基
のぞき型ケース（エアタイト式） 2台
外寸 W.1,800×D.900×H.1,000mm
ハイケース（エアタイト式） 1台
外寸 W.1,700×D.1,200×H.2,500mm
行灯型ケース（エアタイト式） 2台
外寸 W.900×D.900×H.2,050mm

空 調：

電熱式加湿器、24時間遠隔温湿度管理

ケース内に調湿材を併用

※ケース内に温湿度記録計を設置

温湿度設定

夏期 温度 $22^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 湿度 $55\% \pm 5\%$

冬期 温度 $24^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 湿度 $55\% \pm 5\%$

警備設備：

開館時 受付・監視員による巡視、監視カメラ設置

閉館時 機械警備（赤外線検知式）

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：イナージェンガス消火

照明設備：照明器具

調光調色スポットライト、天井ダウンライト等

(3) 展示室3

面 積：167.95㎡

天井高：3.5m

設 備：

壁付きケース（エアタイト式） 2基

のぞき型ケース（エアタイト式） 3台

外寸 W.1800 × D.900 × H.1,000mm

ハイケース（エアタイト式） 1台

外寸 W.1,800 × D.1200 × H.2,400mm

行灯型ケース（エアタイト式） 3台

外寸 W.900 × D.900 × H.2,050mm

可動間仕切り壁 28枚

空 調：

電熱式加湿器、24時間遠隔温湿度管理

ケース内に調湿材を併用

※ケース内に温湿度記録計を設置

温湿度設定

夏期 温度 $22^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 湿度 $55\% \pm 5\%$

冬期 温度 $24^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 湿度 $55\% \pm 5\%$

警備設備：

開館時 受付・監視員による巡視、監視カメラ設置

閉館時 機械警備（赤外線検知式）

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：イナージェンガス消火

照明設備：照明器具

調光調色スポットライト、天井ダウンライト等

II 展覧会事業

1 常設展

(1) 展示室1「埼玉の人形作り」

展示室1では、日本最大の人形産地である埼玉県の人形作りについて、人形の伝統的な製作技法である「桐塑頭」を中心に紹介している。人形製作道具、材料や工程品を引き出し式のケースで展示しているほか、壁面のタッチパネル式モニターでは、岩槻の職人による人形製作の様子を映像で観ることができる。また、埼玉県内で多く作られていた浮世人形や袴雛、岩槻の職人・作家による江戸木目込人形なども展示している。

【展示室1映像コンテンツ】（日英字幕あり）

- ・「頭の形を生み出す」……………2分28秒
- ・「肌を仕上げる」……………3分 5秒
- ・「顔を描く、髪を整える」……………2分51秒
- ・「衣裳着人形」……………2分42秒
- ・「木目込人形」……………2分50秒

(2) 展示室2「コレクション展示 日本の人形」

展示室2では、江戸時代の日本の人形を中心に当館の所蔵品を公開している。「節句人形」「古典人形」「創作人形」「郷土玩具」「海外の人形」等のコーナーに分け、華やかな雛人形、江戸時代の飾り方をイメージした雛段、胡粉の白い肌が印象的な御所人形、彩色が美しい嵯峨人形、小さくても精巧な加茂人形や芥子人形、着せ替えを楽しめる市松人形など、日本の伝統的な美意識に基づき作られた人形をおおよそ30～40件展示している。特に、展示室2入口正面にあるハイケース（ウェルカムケース）では、季節や企画展に関連した名品を紹介している。資料の素材や制作年代ごとに展示期間を定め、ケースごとに合計年10回程度の展示替えを実施し、資料の保存に努めている。

また、展示通路では日本の人形文化の発展を

イメージした年表パネル、当館の修復事業を紹介したパネルなどを掲示している。



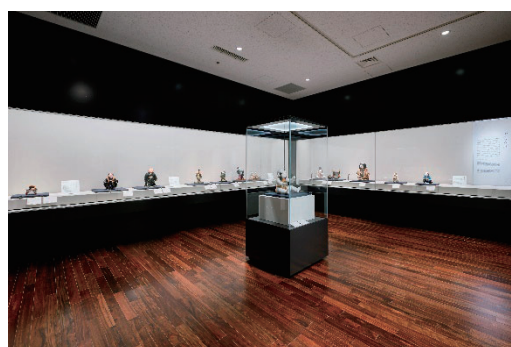
展示室1 展示風景



展示室1 引き出し式ケース



展示室2 展示風景（節句人形）



展示室2 展示風景（古典人形）

2 特別展・企画展等

展示室3（企画展示室）では、人形に関連する美術作品や歴史資料を用いたテーマ性のある展示を、開催規模等により特別展・企画展・特別企画展・特集展示として開催している。

令和元年度

(1) 開館記念名品展「雛人形と犬笛・天児・這子」

会 期：令和2年2月22日（土）～4月12日（日）9日間

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期中の3月2日から臨時休館。

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：33件

関連事業：

○トークセッション「雛祭りの今、これから一祝いから趣味・観光へ」※中止

日 時：2月29日（土）13：30～15：50

登壇者：是澤博昭氏（大妻女子大学教授）コーディネーター、神野由紀氏（関東学院大学教授）、山田慎也氏（国立歴史民俗博物館教授）

会 場：当館会議室

定 員：60人

○講演会「お雛さまのお召しもの」※中止

日 時：3月22日（日）14：00～15：30

講 師：河上繁樹氏（関西学院大学教授）

会 場：当館会議室

定 員：60人

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
1	次郎左衛門頭立雛		江戸時代	
2	次郎左衛門頭立雛		江戸時代	
3	寛永雛		江戸時代	
4	有職雛		江戸時代	
5	次郎左衛門雛		江戸時代	
6	古今雛		江戸時代	
7	古今雛		江戸時代	

○学芸員による展示解説

日 時：①2月23日（日・祝）、②2月24日（月・休）、③3月1日（日）、④3月15日（日）、⑤3月20日（金・祝）いずれも13：30～14：00 ※④、⑤は中止

会 場：展示室2・3

参加者：①51人、②48人、③47人

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）

入館者数：10,732人（1,192人／1日）

担当学芸員：菅原千華・平井美江

開催概要：

本展は、開館を記念して、寛永雛、次郎左衛門雛など、雛人形の名品をお披露目するとともに、人形のルーツとされる希少な犬笛、天児、這子なども展示し、当館を代表する名品を一堂に紹介したものである。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のための国の自粛要請と緊急事態宣言を受け、3月2日から臨時休館となった。



チラシ

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
8	内裏雛		江戸時代	
9	八人雅楽		江戸時代	
10	芥子雛		江戸時代	
11	芥子雛 源氏杵飾		江戸時代	
12	芥子雛		江戸時代	
13	芥子雛		江戸時代	
14	加茂人形 次郎左衛門雛		江戸時代	
15	芥子雛		江戸時代	
16	三人官女		江戸時代	
17	古吉野雛		江戸時代	
18	三五雛		江戸時代	
19	駕籠乗稚児		江戸時代	
20	紫檀象牙細工蒔絵雛道具		江戸時代	
21	銀製雛道具		江戸時代	
22	犬宮		江戸時代	
23	犬宮の白絵箱・銀杯		江戸時代	
24	犬宮		江戸時代	
25	犬宮		江戸時代	
26	犬宮		江戸時代	
27	雛女夫桃の細眉	歌川国貞 (三代豊国)	弘化4年～嘉永5年 (1847～1852)	
28	天児		江戸時代	
29	天児		江戸時代	
30	這子		江戸時代	
31	這子		江戸時代	
32	這子		江戸時代	
33	天野家雛段		大正～昭和時代	

※原則として、所蔵がさいたま市岩槻人形博物館の場合は省略した（以下、出品リスト同）。

令和2年度

(1) 開館記念名品展「雛人形と犬宮・天児・這子」

会 期：令和2年7月11日（土）～8月23日
（日）39日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：33件

印 刷 物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）

入館者数：4,711人（121人／1日）

担当学芸員：菅原千華・平井美江

開催概要：

令和2年度における当初の展覧会計画では4月25日～6月7日まで、開館記念名品展Ⅱ「御所人形―輝く肌の魅力」を開催する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、会期を変更するとともに、名品展Ⅰが数日で閉幕となったことから、名品展Ⅰを再び開催すること

にした。

※出品リストは、令和元年度開館記念名品展Ⅰ「雛人形と犬宮・天児・這子」と同じ。



チラシ

(2) 特別展「こどものかたち—創作人形の力展
～平田郷陽・野口光彦を中心に～」

会 期：令和2年10月3日（土）～11月23日
（月・祝） 45日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：36件

関連事業：

○講演会1「『ハッピーのうつわ：野口光彦を中心に』

日 時：10月10日（土）14：00～15：30

講 師：今井陽子氏（東京国立近代美術館工芸館主任研究員）

会 場：当館会議室

参加者：25人

○講演会2「『創作』のありか—郷陽、光彦、堀柳女をめぐる」

日 時：11月8日（日）14：00～15：30

講 師：本橋浩介氏（佐倉市立美術館副主幹・学芸員）

会 場：当館会議室

参加者：35人

○学芸員によるスライドトーク

日 時：①10月11日（日）、②10月25日（日）、
③11月3日（火・祝）、④11月21日（土）いずれも13：30～14：00

講 師：当館学芸員

会 場：当館会議室

参加者：①30人、②30人、③39人、④37人

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）、
図録（A4判・72頁）

入館者数：9,560人（212人／1日）

担当学芸員：蟹沢真弓・平井美江

開催概要：

開館第1回目の特別展として開催した。昭和初期の人形芸術運動で人形の芸術的価値を高めることに尽力した平田郷陽（1903～1981、後の人間国宝）、野口光彦（1896～1977）の二人の人形作家を中心に、彼らの周辺で活躍した岡本玉水、佐野光輝、鈴木賢一のほか、さいたまゆかりの人形作家として綿貫萌春の作品も展示した。子供や親子のかたちを表した作品を通して、その美しさや、現代にまで通じる人形の持つ「力」を紹介した。



ポスター

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章	平田郷陽 —写真からデフォルメまで、多彩な「こどものかたち」			
1	虫取り*	伝初代平田郷陽	明治～大正時代	
2	桃太郎	平田郷陽	大正13年（1924）	個人蔵
3	金太郎*	平田郷陽	昭和時代	奥主泰司コレクション
4	雪舟	平田郷陽	昭和時代	奥主泰司コレクション
5	泣く子	平田郷陽	昭和11年（1936）	個人蔵
6	餅	平田郷陽	昭和14年（1939）	奥主泰司コレクション
7	独楽	平田郷陽	昭和時代	奥主泰司コレクション
8	囃子の音	平田郷陽	昭和25年（1950）	奥主泰司コレクション
9	朝霜	平田郷陽	昭和30年（1955）	個人蔵
10	抱擁	平田郷陽	昭和41年（1966）	個人蔵
11	夢	平田郷陽	昭和8年（1933）	
12	子雀*	平田郷陽	昭和時代	
13	童戯	平田郷陽	昭和時代	

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
14	桃太郎	平田郷陽	昭和時代	
15	夢	平田郷陽	昭和時代	奥主泰司コレクション
16	ゆび	平田郷陽	昭和32年（1957）	奥主泰司コレクション
17	虎の子	平田郷陽	昭和47年（1972）	奥主泰司コレクション
第2章 野口光彦 ー新しい御所人形、躍動感あふれる神秘的な童子たち				
18	菊慈童*	野口光彦	昭和19年（1944）頃	奥主泰司コレクション
19	古典童女立像	野口光彦	昭和23年（1948）	奥主泰司コレクション
20	壺を持つ児	野口光彦	昭和27年（1952）	奥主泰司コレクション
21	爽朝	野口光彦	昭和28年（1953）	奥主泰司コレクション
22	童心戯笛	野口光彦	昭和31年（1956）	
23	鏡と子供	野口光彦	昭和時代	
24	陽炎	野口光彦	昭和時代	
25	御所人形 躍	野口光彦	昭和時代	
26	H君の像	野口光彦	昭和30年（1955）	奥主泰司コレクション
第3章 郷陽・光彦周辺の人形作家たち ー岡本玉水・佐野光輝・鈴木賢一				
27	子とろ*	岡本玉水	昭和時代	
28	犬乗り	岡本玉水	昭和時代	東玉・人形の博物館蔵
29	村童	佐野光輝	昭和時代	是澤博昭氏蔵
30	赤い櫛	鈴木賢一	昭和31年（1956）	
トピック さいたまゆかりの人形作家 ー綿貫萌春				
31	無心	綿貫萌春	昭和54年（1979）頃	
32	餓鬼大将	綿貫萌春	昭和54年（1979）	個人蔵
平田郷陽の人形制作について				
参考資料1	『権衡図』	平田郷陽	昭和8年～昭和12年（1933～1937）頃	個人蔵
参考資料2	絵葉書 平田郷陽「母と子」		昭和11年（1936）	
参考資料3	『母性愛浮世絵集』	松木喜八郎編	昭和15年（1940）	個人蔵
参考資料4	スクラップブック	平田郷陽	昭和時代	個人蔵

※作品名が不明の場合には、所蔵者の表記及び過去から用いられてきた名称・読み方に従って作品名を付け、「*」を付した。

(3) 開館一周年記念企画展「天野家の雛祭りー人形が彩る商家の暮らしー」

会 期：令和3年3月23日（火）～5月5日（水・祝） 39日間

※当初は、1月30日（土）～3月21日（日）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期を変更。

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：34件

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）、パンフレット（A5判・16頁）

入館者数：5,309人（136人／1日）

担当学芸員：岩田明日香・平井美江

開催概要：

平成30年（2018）、日本橋で小間物商を営んでいた天野家より、老舗人形店・永徳斎で誂えた節句人形や御所人形等が寄贈された。本展は、天野家コレクションの受贈と当館の開館1周年を記念したもので、天野家コレクションの雛人形を一堂に公開し、昭和初期の写真をもとに大雛段の再現展示を行った。令和3年（2021）1月からの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令を受け延期となり、同年3月からの開催となった。



チラシ

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章 小間物商 天野源七				
1	江戸買物独案内（パネル）		文政7年（1824）	国立国会図書館蔵
2	近江屋天野源七 広告	鍋田玉英	明治時代	個人蔵
3	貴族院多額納税者議員互選名簿		明治44年（1911）	
4	天野源七商店		大正時代	個人蔵
5	「ヘチマコロン」シリーズの容器		大正時代～昭和時代	株式会社ヘチマコロン蔵
6	漫談「酔ざめコロン」		昭和時代初期	
7	「ヘチマコロン」広告			
	-1 浅草橋の「ヘチマコロン」看板（パネル）		昭和時代初期	吉徳資料室蔵
	-2 『主婦之友』		昭和8年（1933）	個人蔵
	-3 『東京小間物化粧品商報』		昭和10年（1935）	個人蔵
8	天野家半纏		昭和時代初期	
9	天野家写真（パネル）		昭和時代初期	個人蔵
第2章 天野家のお雛さま				
10	六代源七の長女・芳枝の初節句祝い		昭和10年（1935）	個人蔵
11	内裏雛 ＊五代源七長女・安所用		明治時代後期	
12	内裏雛 ＊六代源七三女・朝子所用		昭和20年代	
13	天野家雛飾りの様子（パネル）		昭和12年（1937）	個人蔵
14	小型御所人形		大正時代～昭和時代初期	
	-1 犬筥持			
	-2 小槌持			
	-3 恵比寿			
	-4 花籠持			
	-5 独楽遊			
	-6 祇園祭			
	-7 鶴宝持	大木平蔵		
	-8 太鼓打			
	-9 鶴抱			
	-10 謡	岡本玉水		
	-11 鼓	岡本玉水		
15	御所人形 三番叟		昭和時代初期	
16	蘭陵王	池野鉄寛	昭和2年（1927）	
17	藤朝雛	益田盛人 彫、 西澤笛畝 彩色	大正15年（1926）	

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
18	五人雅楽	池野鉄寛	昭和4年（1929）	
19	立雛図	西澤笛畝	昭和2年（1927）	
20	天野家雛段		大正時代～ 昭和時代初期	
-1	内裏雛 ＊六代源七長女・芳枝所用			
-2	内裏雛 ＊六代源七次女・郁子所用			
-3	犬宮			
-4	雛道具 台火鉢			
-5	雛道具 三方瓶子			
-6	三人官女			
-7	雛道具 高坏			
-8	雛道具 菱台			
-9	雪洞			
-10	五人雅楽 ＊六代源七長女・芳枝所用			
-11	五人囃子 ＊六代源七次女・郁子所用			
-12	花入			
-13	葉玉			
-14	隨身			
-15	三人仕丁			
-16	桜橘			
-17	雛道具 御所車			
-18	雛道具 三棚（書棚・厨子棚・黒棚）			
-19	雛道具 三揃（箆笥・長持・鉢箱）			
-20	雛道具 台子飾			
-21	雛道具 化粧道具			
-22	雛道具 女乗物			
-23	雛道具 茶弁当			
-24	雛道具 三揃（箆笥・長持・鉢箱）			
-25	雛道具 懸盤			
-26	雛道具 飯器・湯桶			
-27	衣裳人形 富樫左衛門・弁慶・静御前			
-28	衣裳人形 女三君			
-29	衣裳人形 鶴亀			
-30	衣裳人形 狸々			
-31	衣裳人形 稚児			
-32	衣裳人形 狎引			
-33	御所人形 花笠持			
-34	御所人形 春駒			
-35	かくれんぼ			
-36	御所人形 万歳			
-37	衣裳人形 花嫁			
-38	御所人形 鯛持			
-39	傀儡師	羽仁春水		
-40	鞍馬獅子	羽仁春水		
-41	七五三	吉野喜代二		
-42	春遊び			
-43	花見踊	名川春山		
-44	春駒			
-45	鏡獅子	鳳堂		
-46	衣裳人形 稚児			
-47	衣裳人形 禿			
-48	衣裳人形 花籠			

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
	-49 舞姿	鳳堂		
	-50 時雨傘	鳳堂		
	-51 衣裳人形 鍬持			
	-52 衣裳人形 大原女			
	-53 衣裳人形 大原女			
21	昭和初期の雛段飾り (パネル)		昭和12年 (1937)	個人蔵
参考	永徳斎の商標		昭和時代初期	
22	天野家雛飾りの様子 (パネル)		昭和10年 (1935)	個人蔵
23	御所人形 這い這い		明治時代後期～ 昭和時代初期	
24	御所人形 鶴亀		明治時代後期～ 昭和時代初期	
25	御所人形 春駒		明治時代後期～ 昭和時代初期	
26	御所人形 宝船		明治時代後期～ 昭和時代初期	
27	変わり雛		大正時代～ 昭和時代初期	
	-1 金物雛	高橋千代三郎		
	-2 川字雛	巖谷小波・西澤笛畝・ 久保佐四郎 考案		
	-3 独楽鞠雛			
	-4 奈良一刀彫雛			
	-5 芥子立雛			
	-6 ひよこ雛	久保佐四郎		
	-7 立雛	久保佐四郎		
	-8 角雛			
第3章 商家の暮らしと人形				
28	曲芸	久保勝太郎	昭和時代初期	
29	屋台玩具 猫の歌舞伎座		昭和時代初期	
30	屋台玩具		昭和時代初期	
	-1 八百屋			
	-2 魚屋			
	-3 天婦羅屋			
	-4 芝居看板			
	-5 楊弓屋			
	-6 煙草屋			
	-7 茶屋			
	-8 芝居小屋			
	-9 見世物小屋			
	-10 熊手屋			
	-11 蓬萊屋			
	-12 簀屋			
	-13 傘店			
	-14 ぶどう餅屋			
	-15 籠笊売			
	-16 玩具売			
	-17 住吉踊屋			
	-18 人形売			
	-19 玩具売			
	-20 羽子板屋			
	-21 風屋			
	-22 雛店			
	-23 楽器屋			
	-24 絵双紙屋			
	-25 プロマイド屋			

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
	-26 天婦羅屋			
31	ミニチュア郷土玩具		昭和時代初期	
	-1 縮作郷土玩具 *第1回～第10回のうち	久保佐四郎		
	-2 木ぼり郷土玩具集			
	-3 時代おもちゃの会 *第1回～第19回			
32	五代源七長女・安の婚礼支度（パネル）		大正14年（1925）	個人蔵
33	市松人形 男子・女子		大正時代	

令和3年度

(1) 企画展「御所人形―輝く肌の魅力」

会 期：令和3年7月17日（土）～8月29日（日） 39日間

※当初は、開館記念名品展Ⅱとして令和2年4月25日（土）～6月7日（日）に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期を変更。

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：36件

関連事業：

○講演会「白の美意識―江戸美人の流行通信」

日 時：8月1日（日）14：00～15：30

講 師：村田孝子氏（美容考古学研究所所長・元ポーラ文化研究所シニア研究員）

会 場：当館会議室

参加者：36人

印 刷 物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）

入館者数：2,639人（67人／1日）

担当学芸員：蟹沢真弓・菅原千華

開催概要：

御所人形は三頭身で白い肌をした童子の姿の人形で、当時の人々が抱いた理想的な子供の姿を表したものである。本展では、裸嵯峨から、見立の趣向が凝らされた童子、からくりや三ツ折の仕掛けがあるもの、土人形、創作人形作家による御所人形まで、様々な種類の御所人形を展示した。なお本展は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、令和2年（2020）度に開催予定だった「開館記念名品展Ⅱ 御所人形」を延期して開催したものである。



チラシ

出品リスト

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章 御所人形の名前とルーツ				
1	嵯峨人形 裸嵯峨		江戸時代	
2	嵯峨人形 裸嵯峨 獅子舞		江戸時代	
3	嵯峨人形 裸嵯峨 犬抱		江戸時代	
4	嵯峨人形 裸嵯峨 枕抱		江戸時代	
5	御所人形 座姿		江戸時代	
6	御所人形 裸童		江戸時代	

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
7	御所人形 這い這い		江戸時代	
8	御所人形 這い這い		江戸時代	
9	這子（パネル）		江戸時代	
第2章 吉祥と見立				
10	御所人形 葵の御紋		江戸時代	
11	御所人形 座姿		江戸時代	
12	御所人形 春駒		江戸時代	
13	御所人形 舟曳		江戸時代	
14	御所人形 太鼓打		江戸時代	
15	御所人形 つくね		江戸時代	
	①② 鶴亀抱			
	③ 鯛抱			
	④ 鶏抱			
	⑤ 枕持			
	⑥ 和本隠			
	⑦ 烏籠持			
	⑧ 太鼓持			
	⑨ 鼓持			
	⑩ 犬宮持			
	⑪ 玉手箱持			
	⑫ 籠鎌持			
	⑬ 打出の小槌持			
16	御所人形 宝冠被		江戸時代	
17	御所人形 太鼓打		江戸時代	
18	御所人形 獅子舞		江戸時代	
19	御所人形 鶏合		江戸時代	
20	御所人形 三番叟		江戸時代	
21	御所人形 鹿島踊		明治時代	
22	御所人形 火炎太鼓		明治時代	
第3章 御所人形の展開				
23	御所人形 三ツ折 男子		江戸時代	
24	御所人形 三ツ折 男女		明治時代	
25	御所人形 面被		江戸時代	
26	御所人形 獅子頭持		江戸時代	
27	御所人形 花見踊		江戸時代	
28	御所人形 鶴亀		明治～昭和時代	
29	御所人形 這い這い		明治～昭和時代	
30	相良土人形 馬乗遊		江戸～明治時代	
31	相良土人形 這い這い		江戸～明治時代	
32	相良土人形 花籠持		江戸～明治時代	
33	相良土人形 太鼓打		江戸～明治時代	
第4章 創作の御所人形				
34	童子	野口光彦	昭和時代	
35	「子宝三番叟」	岡本玉水	昭和時代	
36	笛吹童子	岡本玉水	昭和時代	

※作品名について、作者による作品名が明らかなものについては「」を付した。

(2) 特別展「西澤笛畝一人形をひのき舞台へ」 会 場：展示室3ほか
 出品件数：58件
 会 期：令和3年10月9日（土）～11月28日
 （日）44日間
 主 催：さいたま市岩槻人形博物館

関連事業：

○講演会「美と郷土と—西澤笛畝の人形と柳宗悦の民芸—」

日 時：10月17日（日）14：00～15：30

講 師：濱田琢司氏（関西学院大学教授）

会 場：当館会議室

参加者：23人

○講座「西澤笛畝って誰ですか？…人形界を盛り上げた、仕事とコレクション」

日 時：10月31日（日）14：00～15：30

講 師：当館学芸員

会 場：当館会議室

参加者：15人

○おもちゃ絵を楽しむ～佐々木一澄さんによるトーク&ワークショップ～

日 時：11月6日（土）14：00～16：00

講 師：佐々木一澄氏（イラストレーター）

会 場：当館会議室

参加費：1,000円

対 象：小学5年生以上

参加者：13人

○学芸員による展示解説

日 時：①10月24日（日）、②11月20日（土）

いずれも13：30～14：00

参加者：①20人、②13人

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）、
図録（A4判・96頁）

入館者数：6,000人（136人／1日）

担当学芸員：菅原千華・岩田明日香

開催概要：

当館の収蔵品の7割を占める西澤笛畝コレクション。そのコレクションを収集した西澤笛畝（1889～1965）は、大正・昭和の日本画家で、人形玩具収集家・研究家として活躍し、人形の芸術的価値を高めようとした人形芸術運動の指導者となるなど、人形の文化芸術振興に生涯を捧げた人物である。本展では、笛畝の集めたコレクション、絵画資料、書誌資料、親交のあった人形作家の作品を展示し、笛畝の人物像や仕事の軌跡を紹介した。



チラシ

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章	人形好きの親子二代—仙湖と笛畝			
1	はがき（阪井久良岐から石川笛畝宛）		明治43年（1910） 9月16日消印	
2	はがき（江澤菜魚から石川笛畝宛）		明治44年（1911） 4月29日消印	
3	西澤仙湖印影扇面	西澤笛畝	昭和2年（1927）	
4	『集古会誌』庚戌第四		明治44年（1911）7月	当館蔵（奥主泰司コレクション）
5	『大供』第1号、第3号、第5号		大正7年（1918）2月～ 大正8年（1919）2月	当館蔵（奥主泰司コレクション）
6	『人形一品会（人形〈玩具〉逸品会）』 第1回～第6回		明治44年（1911）11月～ 大正6年（1917）2月	
7	『うなみの友』初編～10編		明治24年（1891）10月～ 大正13年（1924）3月	
8	相良土人形 おぼこ・亀抱図	西澤笛畝	大正～昭和時代	
9	相良土人形 おぼこ		江戸時代	
10	相良土人形 亀抱		昭和10年（1935）	

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
11	『雛百種』上中下		大正4年（1915）12月	
12	「起上り雛」	久保佐四郎作、 西澤仙湖按	明治41年（1908）	
13	「不二雛」	西澤仙湖作、 邨田丹陵彩色	明治～大正時代	
14	「江戸一文雛」		江戸～明治時代	
15	「越ヶ谷段雛」		江戸～明治時代	
第2章 日本画家として一花鳥画と人形玩具絵				
16	「躑躅」（写生帖『姫百合』より）	西澤笛畝	明治42年（1909）5月5日	
17	「巴鴨」（写生帖『写生会』より）	西澤笛畝	大正2年（1913）1月3日	
18	「松竹梅」	西澤笛畝	大正15年（1926）	東京国立近代美術館蔵
19	「リウキウウチワトンボ」、カマキリ （「昆虫蛇写生」より）	西澤笛畝	大正～昭和2年（1927）	
20	「浄晨」	西澤笛畝	昭和17年（1942）	東京国立近代美術館蔵
21	作画記録帖	西澤笛畝	大正8年（1919）～ 昭和2年（1927） 昭和11年（1936）～ 昭和12年（1937）	
22	御所人形写生	西澤笛畝	昭和26年（1951） 3月22日、23日	
23	「菟集」	西澤笛畝	昭和25年（1950）	
24	南方と東南アジアの人形・玩具		20世紀	
第3章 人形の地位向上に尽力—人形芸術運動				
25	『新日本人形集』		昭和11年（1936）3月	
26	『童宝展図録』第8回～第10回		昭和13年（1938）3月～ 昭和15年（1940）5月	
27	「雛」（富士雛）	野口光彦	昭和8年（1933）	
28	人形第四部進出期成会撤文 （スクラップ貼込）		昭和10年（1935）8月	
29	『第一回帝展集』		昭和11年（1936）3月	当館蔵（奥主泰司コレクション）
30	寄せ書き色紙	西澤笛畝・ 山田徳兵衛ほか作	昭和37年（1962） 10月12日	吉徳資料室蔵
31	古博多人形 笹野才蔵		明治～昭和時代	
32	「朧夜」	久保佐四郎	昭和4年（1929）頃	
33	「三吉」	平田郷陽	昭和9年（1934）	東玉・人形の博物館蔵
34	「踏絵」	堀柳女	昭和8年（1933）	吉徳資料室蔵
35	菊慈童	野口光彦	昭和19年（1944）頃	当館蔵（奥主泰司コレクション）
第4章 笛畝の夢—世界と日本の人形コレクション				
36	象牙雛		安政2年（1855）3月	吉徳資料室蔵
37	象牙雛付属雛道具		安政2年（1855）3月	吉徳資料室蔵
38	『南支の旅』	西澤笛畝	昭和4年（1929） 10月～11月	
39	中国の玩具		1920年代	
40	天津人形 京劇舞台		1920年代	
41	中国 張子起上がり バンプタオ（搬不倒）		1930年代	
42	中国 土人形		10世紀～13世紀	
43	韓国の玩具		1938年～1940年	
44	はがき（西澤笛畝から山田徳兵衛宛）		昭和6年（1931） 11月14日	吉徳資料室蔵
45	はがき（西澤笛畝から山田徳兵衛宛）		昭和6年（1931）12月1日	吉徳資料室蔵
46	タイ 張子の被り物		1931年頃	
47	タイ 張子玩具		1931年頃	
48	タイの玩具		1931年頃	
49	アメリカ 婦人人形 YONEKO		1953年頃	
50	『答礼親善人形作成』	西澤笛畝	昭和28年（1953） 5月15日	
51	土人形 花笠踊		江戸～明治時代	
No.52以下は展示室2（常設展示室）で展示。				
52	御所人形 立子 男女		江戸時代	

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
53	古今雛		江戸時代	
54	三五雛		江戸時代	
55	加茂人形 七福神		江戸時代	
56	竹田人形 女浦島、竹田人形 乙姫		江戸時代	
57	浄瑠璃人形の頭 三番叟、 阿波浄瑠璃人形の頭 娘	天狗久ほか	明治～昭和時代	
58	出土遺物の土人形		江戸～明治時代	

(3) 企画展「創作人形作家の雛とおもちゃ絵～人形の近代をめぐる～」

会 期：令和4年1月29日（土）～3月21日
（月・祝） 45日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：44件

関連事業：

○講演会「人形趣味の近代—古物収集から人形作家作品へ—」

日 時：2月26日（土）14：00～15：30

講 師：神野由紀氏（関東学院大学教授）

会 場：当館会議室

参加者：21人

○ワークショップ「つくろう、おひなさま～ふじ雛の絵付け体験～」

日 時：2月6日（日）①10：00～、②14：00～

講 師：当館学芸員

会 場：当館会議室

参加費：400円

対 象：①小学3～6年生、②中学生以上

参加者：①4人、②7人

○学芸員による展示解説

日 時：①2月20日（日）、②3月13日（日）

いずれも 13：30～14：00

参加者：①35人、②18人

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）、
パンフレット（B5判・16頁）

入館者数：8,069人（179人／1日）

担当学芸員：蟹沢真弓・平井美江

開催概要：

毎年恒例の雛祭り展を、「創作人形作家の雛とおもちゃ絵」というテーマで企画した展覧会。本展は、趣味から芸術まで、人形に求められる役割が広がった近代という時代に焦点を当て、人形玩具趣味と連動して流行した「おもちゃ絵」、人形研究団体の先駆けである「白澤会」、御所人形作家で、雛頭の名手としても知られた「野口光彦」という3つのキーワードから、人形とその周辺の紹介を試みた。



ポスター

出品リスト

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章	おもちゃ絵—描かれた人形・玩具			
1	菜の花雛図	淡島椿岳	明治時代	
2	「色紙堤雛図」	清水晴風	明治～大正時代	当館蔵（奥主泰司コレクション）

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
3	「郷土人形図」	久保佐四郎	明治～昭和時代初期	当館蔵（奥主泰司コレクション）
4	「春駒図」	西澤笛畝	昭和時代	
5	「土製内裏雛図」	西澤笛畝	昭和16年（1941）～ 昭和20年（1945）	当館蔵（奥主泰司コレクション）
6	『うなゐの友』	清水晴風・ 西澤笛畝／ 芸艸堂発行	明治24年（1891）～ 大正13年（1924）	
7	『おもちゃ百種』	淡島寒月／ 私家版	大正5年（1916）	
8	『寿々』Ⅰ・Ⅱ	山内神斧／ 芸艸堂発行	大正7年（1918）	
9	『おもちゃ十二月』	川崎巨泉／ だるまや書店発行	大正15年（1926）	
10	『雛百種』	久保田米斎編、西澤笛 畝編著／芸艸堂発行	大正4年（1915）	
11	「雛写生」	西澤笛畝ほか	大正4年（1915）頃	
12	「菜の花雛」		明治～昭和時代初期	
13	「吉野雛」		明治～昭和時代初期	
14	「銀鶏雛」		明治～昭和時代初期	
第2章 白澤会の雛と人形—趣味と芸術の狭間で				
15	「御部屋雛」	久保佐四郎	明治～大正時代	
16	「嘉美雛」	久保佐四郎	大正時代	
17	「朧夜」	久保佐四郎	昭和4年（1929）頃	
18	「紙雛」	久保佐四郎	明治43年（1910）	
19	犬篋	久保佐四郎	明治～大正時代	
20	小物玩具	久保佐四郎	大正～昭和時代	
21	「久平雛」	久保佐四郎・ 平田郷陽	昭和5年（1930）	
22	「矢の根」	平田郷陽	昭和17年（1942）	
23	内裏雛	岡本玉水	昭和時代	
24	鼓打	岡本玉水	昭和時代	
25	「かぐや姫」	岡本玉水	昭和25年（1950）	
26	「紅絵売り」	岡本玉水	昭和時代	
27	「舞」	名川春山	昭和時代初期	
28	「仕初の口上」	名川春山	昭和時代初期	
29	五人雅楽	池野鉄寛 （哲仙）	昭和4年（1929）	
30	「百人一衆」	池野鉄寛 （哲仙）	昭和9年（1934）	
31	押絵羽子板 「娘道成寺」	吉田永光	昭和時代初期	
32	押絵羽子板 矢の根	吉田永光	昭和時代初期	
33	押絵羽子板 羽根突	吉田永光	昭和時代初期	
34	『人形師佐四郎』	白澤会発行	昭和8年（1933）	
35	『新日本人形集』	平田郷陽・ 岡本玉水編／ 白澤会発行	昭和11年（1936）	
第3章 野口光彦の雛人形—雛頭の名手の愛らしい稚児雛				
36	「大御代雛」	野口光彦	昭和時代	
37	「八紘雛」	野口光彦	昭和15年（1940）	
38	「陽炎」	野口光彦	昭和時代	
39	『彩玩』第1号	鹿児島寿蔵編／彩玩社 発行	昭和9年（1934）	
40	アサヒグラフ臨時増刊『帝展号』昭和十一年	星野辰男編／ 東京朝日新聞社発行	昭和11年（1936）	当館蔵（奥主泰司コレクション）
41	絵葉書 野口光彦「村童」		昭和11年（1936）	
42	絵葉書 野口光彦「砂丘に遊ぶ子供」		昭和12年（1937）	
43	稚児雛十五人揃	野口光彦	昭和時代初期	
参考資料	伝統的工芸品シリーズ 第2集 郵便切手より「江戸木目込人形」	郵政省発行	昭和60年（1985）	個人蔵

※作品名は、箱書や出品目録等で作品名と確認されるものについては「」を付した。

令和4年度

(1) 特集展示「郷土玩具～おももり・えんぎもの～」

会 期：令和4年4月29日（金・祝）～8月21日（日） 94日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：57件

入館者数：8,047人（85人／1日）

担当学芸員：菅原千華

開催概要：

人形や玩具は、人々の精神生活と関わりが深い存在である。本展は、人々の無病息災への祈りが込められ、お守りや縁起物などの信仰的な意味合いを持つ郷土玩具に焦点を当てた当館初の特集展示。疱瘡除けや魔除けの赤物玩具、全国の寺社仏閣から授けられた鴛や蘇民将来符などのお守り、動物をモチーフとした縁起物などのほか、トピックとして、さいたま市内で作られた郷土玩具を紹介した。

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章 赤色のおもちゃ				
1	鴻巣 赤物		明治～昭和時代	
	① 獅子舞 [埼玉県鴻巣市]			
	② 桃太郎 [同上]			
	③ 馬乗金太 [同上]			
	④ 鯛車 [同上]			
	⑤ 花魁 [同上]			当館蔵（土川治利氏寄贈）
	⑥ 狎 [同上]			
	⑦ 天神 [同上]			
2	伏見土人形 赤物		明治～昭和時代	
	① 天神 [京都府京都市]			
	② 子抱 [同上]			
	③ 力士 [同上]			
3	会津張子 赤べこ		大正～昭和時代	
	① 赤べこ [福島県会津若松市・耶麻郡西会津町]			
4	高松張子 ほうこ 廿日市張子 おほこ		大正～昭和時代	
	① 高松張子 ほうこ [香川県高松市]	宮内フサ		
	② 廿日市張子 おほこ [広島県廿日市市]			
5	草津 狸々		昭和時代	
	① 草津 狸々 [滋賀県草津市・守山市]			
6	だるま		昭和時代	
	① 宇土張子 姫だるま [熊本県宇土市]			当館蔵（土川治利氏寄贈）
	② 高知 姫だるま [高知県高知市]			
	③ 会津張子 だるま [福島県会津若松市]			当館蔵（土川治利氏寄贈）
7	獅子頭		明治～昭和時代	
	① 高松張子 獅子頭 [香川県高松市]	岩佐武平		
	② 新潟 獅子頭 [新潟県三島郡出雲崎町]	遠藤英而		
	③ 大阪張子 獅子頭 [大阪府大阪市]	中村新太郎		
	④ 鳥取 麒麟獅子頭 [鳥取県]			
	⑤ 東京 獅子頭 [東京都]	野島智三郎		
トピック：ふるさとのおもちゃ				
8	五関張子 恵比寿・大黒		大正～昭和時代	
	① 五関張子 恵比寿・大黒 [埼玉県さいたま市]	蓮見兵吉		
9	五関張子 だるま背負い		大正～昭和時代	
	① 五関張子 だるま背負い [埼玉県さいたま市]	蓮見兵吉		当館蔵（土川治利氏寄贈）

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第2章 おまもりいろいろ				
10	蘇民将来符		江戸～昭和時代	
	① 信濃国分寺（八日堂）蘇民将来符 [長野県上田市]			
11	疫病除けのお守り		大正～昭和時代	
	① 少彦名神社 神農の虎 [大阪府大阪市]			
	② 宇都宮 黄ぶな [栃木県宇都宮市]			当館蔵（土川治利氏寄贈）
	③ 菟足神社 鐘馗面 [愛知県豊川市]			
12	子孫繁栄・和合のお守り		大正～昭和時代	
	① 住吉大社境内社 種貸社 種貸さん [大阪府大阪市]			
	② 住吉大社境内社 侍者社 裸雛 [同上]			
	③ 和歌山 瓦猿 [和歌山県和歌山市]			
	④ 青島神社 神雛 [宮崎県宮崎市]			
13	鶯（うそ）		大正～昭和時代	
	① 湯島天満宮 鶯 [東京都文京区]			
	② 五條天神社 鶯 [東京都台東区]			
	③ 亀戸天神社 鶯 [東京都江東区]			
	④ 鶯 [産地不明]			
	⑤ 岡崎天神社 鶯 [愛知県岡崎市]			
	⑥ 桜天神社 鶯 [愛知県名古屋市]			
	⑦ 北野天満宮 鶯 [京都府京都市]			
	⑧ 安居神社 鶯 [大阪府大阪市]			
	⑨ 大宰府天満宮 鶯 [福岡県太宰府市]			
14	土鈴・土笛		大正～昭和時代	
	① 英彦山神宮 英彦山ガラガラ [福岡県田川郡添田町]			
	② 穴切大神社 五色鈴 [山梨県甲府市] 斎藤岳南			
	③ 金櫻神社 虫切鈴 [山梨県甲府市]			
	④ 鹿児島神宮 埴鈴 [鹿児島県霧島市]			
	⑤ 宮地嶽神社 もま笛（津屋崎土人形） [福岡県福岡市]			
	⑥ 筥崎宮 鳩笛 [福岡県福岡市]			
15	動物の縁起物		大正～昭和時代	
	① 吉備津神社 こま犬 [岡山県岡山市]			当館蔵（土川治利氏寄贈）
	② 住吉大社境内社 楠珞社 初辰猫 [大阪府大阪市]			当館蔵（土川治利氏寄贈）
	③ 朝熊岳金剛證寺 撫牛 [三重県伊勢市]			
	④ 敷津松之宮境内社 日出大国社 （大国主神社） 福鼠 [大阪府大阪市]			
	⑤ 柳森神社 親子狸 [東京都千代田区]			当館蔵（土川治利氏寄贈）
	⑥ 浅草神社境内社 被官稲荷神社 鉄砲狐 [東京都台東区]			
	⑦ 新日吉神宮 猿面 [京都府京都市]			
	⑧ 松洞山大行院（龍泉寺）春駒 [愛知県名古屋市]			
	⑨ 伊佐爾波神社 神鳩 [愛媛県松山市]			
	⑩ 大国魂神社 烏団扇 [東京都府中市]			

※産地は〔 〕内に記した。2022年現在の都道府県市町村名を記載し、寺院・神社名称についても現在名称（通称）で記載した。

※所蔵の（ ）は寄贈者を記した。

(2) 特別展「人形作り いろはの“い”～後世に伝えたい桐塑の技～」

会 期：令和4年9月23日（金・祝）～12月4日（日） 64日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：42件

関連事業：

○講演会1「桐塑を用いた人形作りの技—職人技の在処—」

日 時：10月23日（日）14：00～15：30

講 師：内田幸彦氏（埼玉民俗の会会員）

会 場：当館会議室

参加者：18人

○講演会2「伝統的な日本の色材—胡粉を中心に—」

日 時：11月5日（土）14：00～15：30

講 師：荒井経氏（東京藝術大学大学院美術研究科教授）

会 場：当館会議室

参加者：21人

○ワークショップ「にんラボ特別編」①「なかのヒミツ 桐塑編」、②「はだのヒミツ 胡粉編」

日 時：①10月15日（土）、②11月12日（土）

いずれも13：30～15：00

講 師：松口一栄氏（頭師）

会 場：当館会議室

参加費：200円

対 象：小学3年生以上

参加者：①15人、②17人

○学芸員による展示解説

日 時：①10月8日（土）、②10月30日（日）、
③11月19日（土）いずれも14：00～14：30

参加者：①14人、②26人、③9人

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）、
図録（A4判・72頁）

入館者数：6,414人（100人／1日）

担当学芸員：岩田明日香・平井美江

開催概要：

さいたま市岩槻区は日本有数の人形産地として知られ、伝統的な人形製作技法である桐塑の技が受け継がれてきた地域である。しかし、近年では桐塑頭の製造数が減少しており、技術の継承が課題となっている。本展は、岩槻で受け継がれてきた桐塑頭の技術を記録し後世へ伝えることを目的として開催した。岩槻の人形師からの聞き取り調査を基に、製作道具や模型、工程の写真パネル等を用いて桐塑頭の歴史や製作技法を紹介した。



チラシ

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵・展示期間
第1章 人形師の登場				
1	「近世職人尽絵詞」中巻	鍛形蕙斎画、 手柄岡持詞	文化2年（1805）頃	東京国立博物館蔵 【展示期間：9/23～11/6（左記以降パネル展示）】
2	『人倫訓蒙図彙』巻五		元禄3年（1690）	
3	『今様職人尽歌合』上巻	鍛形蕙斎画	文政8年（1825）	埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵 【展示期間：9/23～10/23】
4	『宝船職人尽』	十返舎一九著、 歌川広重画	文政10年（1827）	【展示期間：10/25～12/4】
5	『東都歳事記』巻三	斎藤月岑著、 長谷川雪旦画	天保9年（1838）	

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵・展示期間
6	『江戸名所図会』巻一	斎藤月岑著、 長谷川雪旦画	天保5年（1834）	
7	「三ツ会姫ひみな遊びノ図」	歌川国貞（三代豊国）	万延2年（1861）	
第2章 岩槻に伝わる桐塑の技				
8	桐塑頭の製作工程模型	大塚正男製作		個人蔵
9	頭の原型	大塚正男製作		個人蔵
10	頭の硫黄釜	（親王）大塚正男製作 （尾山）高橋照欣製作	昭和時代後期	個人蔵
11	頭の桐塑生地	（親王）松口一栄製作 （鍾馗）高橋照欣製作	昭和時代後期	
12	胡粉研ぎ鉢・すりこぎ	大塚正男使用		個人蔵
13	ガラス目	松口一栄使用		個人蔵
14	刷毛	（右側2本）大塚正男使用 （左側3本）松口一栄使用		個人蔵 個人蔵
15	小刀類（生反り、丸刀、切り出し）	（右側5本）大塚正男使用 （左側3本）松口一栄使用		個人蔵 個人蔵
16	置き上げ用の筆	大塚正男使用		個人蔵
17	タカッポ	大塚喜一・正男使用	昭和時代後期	個人蔵
18	巻藁・巻藁台	大塚正男使用		個人蔵
19	作業台	松口甚五郎使用	昭和時代後期	
20	すり込み刷毛・筆類	（刷毛）高橋照欣使用 （筆類）松口一栄使用	昭和時代後期	個人蔵
21	頬紅用の顔料	鈴木周三郎製作	昭和時代後期	
22	墨・硯	松口一栄使用		個人蔵
23	口紅用の顔料	松口一栄使用		個人蔵
24	雛人形の舌	松口一栄製作		個人蔵
25	すが糸・詰め糸	大生人形使用		個人蔵
26	おすべらかしの型・木型	大塚喜一・正男使用	昭和時代後期	
27	櫛・ブラシ	大塚正男使用		個人蔵
28	鋏類・目打ち	松口甚五郎使用	昭和時代後期	
29	桐塑頭 完成品	高橋照欣製作	昭和時代後期～ 平成時代	
30	桐塑頭 完成品	松口一栄製作	昭和時代後期～ 平成時代	個人蔵
31	内裏雛	頭 大塚正男製作 胴 飯塚人形製作	平成12年（2000）頃	個人蔵
第3章 産地の発展と伝統の継承				
32	秋葉神社石灯笼〔写真〕		文政13年（1830）	
33	『埼玉県営業便覧』	田口浪三・高柳鶴太郎編 全国営業便覧発行所発行	明治35年（1902）	
34	「岩槻雛人形製造業組合規約」 組合員看板	（規約）大正11年 （1922） （看板）昭和時代初期	個人蔵	
35	プラ人形	西田喜楽製作	昭和時代初期	個人蔵
36	岩槻の風景〔写真〕		昭和40年（1965）頃	東玉提供
37	江戸木目込人形「天まで上がれ」	鈴木賢一	昭和52年（1977）	
38	江戸木目込人形「天平」	鈴木賢一	平成時代	
39	江戸木目込人形「若大将」	石川潤平	昭和63年（1988）	個人蔵
40	石膏頭	鈴木人形製作		
41	石膏頭の型	大生人形製作		個人蔵
42	白雲土製頭の型	大生人形製作		個人蔵

(3) 企画展「描かれた雛祭り～にんばくの浮世絵コレクション～」

会 期：令和5年1月28日（土）～3月19日（日） 44日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：25件

関連事業：

○講演会「浮世絵に描かれた雛祭り」

日 時：2月25日（土）14：00～15：30

講 師：日野原健司氏（太田記念美術館主席学芸員）

会 場：当館会議室

参加者：28人

○ワークショップ「つくろう、おひなさま～ふじ雛の絵付け体験～」

日 時：2月11日（土・祝）14：00～16：00

講 師：当館学芸員及び当館ボランティア

会 場：当館会議室

参加費：400円

対 象：小学3年生以上

参加者：19人

○学芸員による展示解説

日 時：①2月19日（日）、②3月11日（土）

いずれも14：00～14：30

参加者：①27人、②35人

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）、パンフレット（A5判・16頁）

入館者数：10,866人（246人／1日）

担当学芸員：蟹沢真弓・林進一郎

開催概要：

当館では人形のほか、より深く人形と人形周辺の文化を知るために、人形が描かれた絵画等も収集している。本展は、そのなかから、雛祭りの季節に合わせ、雛祭りや雛人形が描かれた浮世絵を中心に選りすぐり、当館初の浮世絵展として開催した。さらに浮世絵とともに、描かれた雛人形と同じ様式の雛人形等も展示し、実物と見比べることができるように工夫した。



ポスター

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章 五節句の彩り～子供の成長を祈る～				
1	「豊歳 五節句ノ遊」	歌川国貞	天保14～15年 (1843～1844) 頃	
2	「旧暦五節句の図」	楊洲周延	明治21年 (1888)	
第2章 雛祭りの華やぎ～江戸時代の浮世絵～				
3	「雛女夫桃の細眉」	歌川国貞 (三代豊国)	弘化4年～嘉永5年 (1847～1852)	
4	「源氏十二ヶ月之内 弥生」	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年 (1855)	
5	「花見月鄙世話事」	落合芳幾	万延2年 (1861)	
6	「十軒店雛市之光景」	歌川国貞 (三代豊国)	弘化4年～嘉永5年 (1847～1852)	
7	雛段飾り	溪斎英泉	文政後期～天保期 (1824～1844) 頃	
8	壮花四季の所作 紙雛	歌川国貞 (三代豊国)	文久2年 (1862)	
9	梅柳魁双紙	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永7年 (1854)	

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第3章 雛祭りの今昔～明治時代の浮世絵～				
10	「当勢三十二想 銚つてみた相」	豊原国周	明治2年（1869）	
11	「当世風俗通 ひなまつり」	宮川春汀	明治32年（1899）	
12	「いま姿 ひなまつり」	山本昇雲	明治40年（1907）	
13	「時代かゝみ 寛延頃」	楊洲周延	明治29年（1896）	
14	「三十六佳撰 ひな遊 元文頃婦人」	水野年方	明治26年（1893）	
15	「千代田之大奥 雛拝見」	楊洲周延	明治29年（1896）	
人形				
N-1	享保雛		江戸時代	
N-2	紫檀象牙細工蒔絵雛道具		江戸時代	
N-3	銀製雛道具		江戸時代	
N-4	古今雛		江戸時代	
N-5	古今雛十七人揃		明治時代	
N-6,7,8	犬宮		江戸～明治時代	
N-9	寛永雛		江戸時代	
N-10	次郎左衛門頭立雛		江戸時代	

※浮世絵の作品名は、図中に記されるものについては「」を付した。

令和5年度

(1) 特集展示「見る、知る、学ぶ！岩槻の人形学」

会 期：令和5年4月29日（土・祝）～7月2日（日） 54日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3

出品件数：15件

関連事業：

○ワークショップ にんラボ「なかのヒミツ 桐塑編」

日 時：5月27日（土）13：30～15：00

講 師：当館学芸員及び当館ボランティア

会 場：当館会議室

参加費：200円

対 象：小学3年生以上

参加者：13人

○当館ボランティアによるGW 特別展示解説

日 時：①5月3日（水・祝）、②5月5日（金・祝）いずれも14：00～14：20、15：00～15：20

参加者：①41人、②50人

印 刷 物：ポスター（B2、A3）

入館者数：4,919人（91人／1日）

担当学芸員：岩田明日香・林進一郎

開催概要：

本展では、岩槻が日本有数の人形産地となるまでの歴史や人形の作り方、岩槻で作られる人形について、10個のポイントに沿ってわかりやすく紹介した。イラストを用いた解説パネルやハンズオン展示台を設置、映像上映やワークシートの配布、連休期間にあわせて当館ボランティアによる展示解説等を行い、大人から子供まで、地域の歴史や人形文化に親しんでもらう機会となることを目指した。



ポスター

出品リスト

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章 “人形のまち”岩槻の歴史				
1	みみずく土偶（複製）		〔原資料〕縄文時代後期	さいたま市立博物館蔵
2	埼玉県岩槻町明細地図 確実信用家営業案内		大正6年（1917）	
参考	【映像】 埼玉ニュースNo.13-4 人形の町 岩槻	埼玉ニュース製作委員会	昭和28年（1953）	株式会社デジタルSKIPステーション提供
第2章 岩槻の人形ができるまで				
3	作業台・刷毛	松口甚五郎使用	昭和時代後期	
4	桐塑頭の工程模型	大塚正男	平成時代	
5	木目込胴の釜	いふじ人形店 使用	平成時代	
6	木目込胴の工程模型	有松人形工房	令和5年（2023）	個人蔵
第3章 岩槻で生まれた人形たち				
7	内裏雛	雛の廣榮 矢作人形店	昭和51年（1976）	個人蔵
8	五月人形 牛若丸と弁慶	斉木好次	昭和45年（1970）頃	
9	五月晴	鈴木賢一	昭和時代後期	
10	潮風	鈴木賢一	昭和30年（1955）	
11	赤い櫛	鈴木賢一	昭和31年（1956）	
12	赤い風車	鈴木賢一	昭和時代後期	
13	母と子	鈴木賢一	昭和時代後期	
14	薫風	鈴木賢一	昭和時代後期	

(2) 特別企画展「人形 未来へのまなざし—中村信喬作品展」

会 期：令和5年7月29日（土）～9月10日（日） 38日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3ほか

出品件数：30件

関連事業：

○デモンストレーション（人形制作）

日 時：8月5日（土）14：00～15：00

講 師：中村信喬氏

会 場：当館会議室

参加者：37人

○特別ギャラリートーク

日 時：8月6日（日）14：00～14：45

講 師：中村信喬氏

会 場：展示室3

参加者：33人

○特別ギャラリートーク（クロストーク）

日 時：9月3日（日）14：00～15：00

講 師：中村信喬氏、是澤博昭氏（大妻女子大学教授）

会 場：展示室3

参加者：56人

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）

入館者数：3,427人（90人／1日）

担当学芸員：林進一郎・平井美江

開催概要：

本展は、公益社団法人日本工芸会人形部会長を務める、人形師・中村信喬氏（1957～）の作品展である。博多人形師を継ぐ家系の3代目に生まれた中村氏は、博多人形の型にとらわれず、創作性の高い作品を発表し続けており、本展では、中村氏の初期の作品から最近のものまでを編年的に紹介した。



ポスター

出品リスト

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵・展示期間
第1章 始動 1979-1996				
1	熊坂	中村信喬	昭和57年（1982）	作者蔵
2	遙陽	中村信喬	昭和59年（1984）	作者蔵
3	太平	中村信喬	昭和61年（1986）	作者蔵
4	連峰	中村信喬	平成3年（1991）	作者蔵
第2章 飛躍 1997-2006				
5	聖堂	中村信喬	令和5年（2023） （原作 1997）	作者蔵
6	遙かな国	中村信喬	平成9年（1997）	作者蔵
7	夢路	中村信喬	平成9年（1997）	作者蔵
8	鳥影	中村信喬	平成11年（1999）	大宰府天満宮蔵
9	清晨	中村信喬	平成12年（2000）	作者蔵
10	長崎幻影	中村信喬	平成15年（2003）	作者蔵
11	輝く海	中村信喬	平成18年（2006）	作者蔵
第3章 展開 2007-2016				
12	大聖堂	中村信喬	平成27年（2015）	作者蔵
13	瀧虹	中村信喬	平成21年（2009）	作者蔵
14	法隆寺 献納	中村信喬	平成22年（2010）	作者蔵
15	瀧津瀬	中村信喬	平成23年（2011）	作者蔵
16	対馬海道	中村信喬	平成26年（2014）	株式会社吉塚うなぎ屋蔵
17	御裳濯	中村信喬	平成25年（2013）	作者蔵
18	永遠の航跡	中村信喬	平成28年（2016）	作者蔵
第4章 進化 2017-				
19	赫焉	中村信喬	平成30年（2018）	作者蔵 【展示期間：7/29～8/20】
20	史記編纂	中村信喬	平成29年（2017）	篠原俊氏蔵 【展示期間：8/22～9/10】
21	凌雪	中村信喬	令和2年（2020）	作者蔵
22	TIME TRAVELER	中村信喬	平成30年（2018）	株式会社アクタ蔵
23	エヴァンゲリオン	中村信喬	令和3年（2021）	ロビー展示 福岡運輸株式会社蔵
24	月の使者	中村信喬	平成31年（2019）	作者蔵
25	花嵐	中村信喬	令和3年（2021）	作者蔵 【展示期間：7/29～8/20】
26	相槌	中村信喬	令和4年（2022）	個人蔵 【展示期間：8/22～9/10】
中村人形				
27	金時	中村衍涯	昭和32年（1957）	作者蔵
28	嵯峨人形 舌出し	中村信喬	平成27年（2015）	作者蔵
29	法隆寺天蓋鳳凰	作者不明		作者蔵
30	法隆寺天蓋鳳凰	中村信喬	令和3年（2021）	作者蔵

(3) 特別展「岡本玉水 人形芸術にかけた生涯—御所人形から玉水人形へ—」

会 期：令和5年10月7日（土）～12月3日（日） 51日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3ほか

出品件数：59件

関連事業：

○講演会「宿命の人形づくり—岡本玉水の人形芸術」

日 時：11月5日（日）14：00～15：30

講 師：本橋浩介氏（佐倉市立美術館副主幹・学芸員）

会 場：当館会議室

参加者：26人

○スライドトーク「作品から見る岡本玉水の生涯」

日 時：10月29日（日）14：00～14：30

講 師：当館学芸員
 会 場：当館会議室
 参加者：17人

○学芸員による展示解説

日 時：①10月14日（土）、②11月12日（日）、
 ③11月23日（木・祝）いずれも14：00
 ～14：30

参加者：①10人、②31人、③41人

印 刷 物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）、
 図録（A4判・96頁）

入館者数：7,399人（145人／1日）

担当学芸員：蟹沢真弓・林進一郎

開催概要：

岡本玉水（1898～1972）は御所人形の名手で、昭和3年（1928）に平田郷陽（後の人間国宝）と共に人形研究団体・白澤会を創立し、人形の芸術的確立を目指した人形芸術運動をけん引した人物として知られている。本展は約45年ぶりの回顧

展で、岡本玉水の全貌を明らかにする、初めての展覧会として開催した。玉水とは如何なる人形作家であり、人形界にどのような足跡を遺したのかを、遺族から寄贈された作品等を通して紹介した。



チラシ

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵・展示期間
第1章 御所人形師の系譜				
1	御所人形 つくね	小林弥五郎	明治時代	
2	御所人形 つくね 鯛持	岡本鉄之助	明治時代	
3	御所人形 つくね 打出の小槌持	岡本鉄之助	明治時代	
第2章 人形芸術運動への邁進				
4	六歌仙	白澤会同人合作	昭和10年（1935）頃	
5	「お鶴」	岡本玉水	昭和11年（1936）	
6	「同胞」	岡本玉水	昭和15年（1940）	
7	「前進」	岡本玉水	昭和16年（1941）	個人蔵
8	「弱法師」	岡本玉水	昭和17年（1942）	
9	「春鶯囀」	岡本玉水	昭和17年（1942）頃	
10	子とろ	岡本玉水	昭和時代	
11	桃太郎 犬猿雄	岡本玉水	昭和時代	
12	鼓打（平田郷陽旧蔵）	岡本玉水	昭和32年（1957）	
第3章 玉水人形の誕生と挑戦				
13	「夜討曾我」	岡本玉水	昭和25年（1950）頃	
14	提灯釣鐘弁慶	岡本玉水	昭和25年（1950）頃	個人蔵
15	「子宝三番叟」	岡本玉水	昭和28年（1953）頃	
16	「大津絵 鷹匠」	岡本玉水	昭和28年（1953）頃	【展示期間：10/7～11/5】
17	藤娘	岡本玉水	昭和28年（1953）頃	【展示期間：10/7～11/5】
18	瓢箪鯨	岡本玉水	昭和24年（1949）頃	【展示期間：11/7～12/3】
19	狐と馬	岡本玉水	昭和28年（1953）頃	【展示期間：11/7～12/3】
20	「豊太閤」	岡本玉水	昭和29年（1954）以前	
21	「かぐや姫」	岡本玉水	昭和25年（1950）	
22	「宮詣」	岡本玉水	昭和30年（1955）	

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵・展示期間
23	「矢の根」	岡本玉水	昭和26～31年 (1951～1956) 頃	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館蔵
24	「粧い」	岡本玉水	昭和26年 (1951)	個人蔵
25	「祭」	岡本玉水	昭和26年 (1951)	個人蔵
26	「初雁」	岡本玉水	昭和26年 (1951)	
27	「酉の市」	岡本玉水	昭和26年 (1951)	
28	「矢の根」	岡本玉水	昭和26年 (1951)	
29	おせん	岡本玉水	昭和32年 (1957) 頃	
30	「追羽根」	岡本玉水	昭和30年 (1955) 頃	【展示期間：10/7～11/5】
31	「花の山」	岡本玉水	昭和33年 (1958) 頃	【展示期間：11/7～12/3】
第4章 玉水人形の円熟と広がり				
32	「犬乗り」	岡本玉水	昭和32年 (1957) 頃	人形の東玉蔵 (当館寄託)
33	「寒山拾得」	岡本玉水	昭和33年 (1958) 頃	【展示期間：11/7～12/3】
34	「人形使ひ」	岡本玉水	昭和33年 (1958)	【展示期間：10/7～11/5】
35	「角田川」	岡本玉水	昭和33年 (1958)	
36	「紅絵売り」	岡本玉水	昭和34年 (1959)	
37	「花見」	岡本玉水	昭和34年 (1959) 以降	
38	「助六」	岡本玉水	昭和37～38年 (1962～1963)	
39	「傀儡師」	岡本玉水	昭和40年 (1965) 頃	塚田工房蔵 (吉田博旧蔵)
40	「春興」	岡本玉水	昭和30年 (1955) 頃	【展示期間：10/7～11/5】
41	「瑞雲」	岡本玉水	昭和32年 (1957) 頃	【展示期間：11/7～12/3】
42	掛軸「雛ゑがく」	岡本玉水画、 山田徳兵衛賛	昭和35～37年 (1960～1962) 頃	
岡本玉水関連資料				
M-1	『新日本人形集』	平田郷陽・ 岡本玉水編、 白澤会発行	昭和11年 (1936)	
M-2	『岡本玉水平田郷陽人形作品展』	朝鮮京城三越 発行	昭和15年 (1940)	
M-3	はがき 平田ぬゐから平田和雄宛 (複製パネル)	昭和20年 (1945)	個人蔵	
M-4	『工芸応用図案雑誌』第18～24、26号 (8冊)	考案雑誌社発行	明治26～27年 (1893～1894)	
M-5	写真アルバム		大正～昭和時代	個人蔵
M-6	『読物と講談』第5巻増刊号	公友社発行	昭和25年 (1950) 11月	個人蔵
M-7	『江戸趣味 玉水人形の栞 (第二編)』	名古屋松坂屋 発行	昭和26年 (1951)	
M-8	『玉水人形の観賞』	北澤七十八・ 岡本玉水	昭和21年 (1946)	
M-9	『岡本玉水人形作品集』	岡本玉水編集・発行	昭和34年 (1959)	
M-10	印章		昭和時代	個人蔵
M-11	看板「玉水人形作房」		昭和時代	個人蔵
M-12	スタンプ帖		昭和時代初期	個人蔵
M-13	絵はがきアルバム		昭和時代	※未出品
M-14	『読物と講談』	公友社発行	昭和23～28年 (1948～1953)	個人蔵
M-15	『季刊江戸から東京へ』	江戸から東京への会発行	昭和43～45年 (1968～1970)	
M-16	展覧会リーフレット・はがき		昭和時代	
M-17	頒布会リーフレット		昭和時代	

※作品名は、箱書や出品目録等で作品名と確認されるものについては「」を付した。

(4) 企画展「にんばくの雛祭り—商家に伝わるお雛さま—」

会 期：令和6年1月27日（土）～3月24日（日） 51日間

主 催：さいたま市岩槻人形博物館

会 場：展示室3ほか

出品件数：28件

関連事業：

○ワークショップ「つくろう、おひなさま～ふじ雛の絵付け体験～」

日 時：2月11日（日・祝）10：00～12：00

講 師：当館ボランティア

会 場：当館会議室

参加費：400円

対 象：小学3年生以上

参加者：8人

○スライドトーク「商家に伝わるお雛さま—寄贈品を中心に—」

日 時：①2月17日（土）、②3月2日（土）、
③3月10日（日）いずれも14：30～15：00

講 師：当館学芸員

会 場：当館会議室

参加者：①33人、②20人、③27人

○まちかど雛めぐり関連企画 当館ボランティアによる雛めぐり常設展示解説

日 時：①2月23日（金・祝）、②2月24日（土）、③2月25日（日）、④3月2日（土）、⑤3月9日（土）、⑥3月10日（日）いずれも11：00～11：20、

14：00～14：20

参加者：①37人、②61人、③30人、④55人、
⑤40人、⑥54人

印刷物：ポスター（B2、A3）、チラシ（A4）、
パンフレット（B5判・12頁）

入館者数：16,075人（315人／1日）

担当学芸員：岩田明日香・矢島璃子

開催概要：

本展は、毎年恒例の雛祭り展として、雛祭りの主な担い手であった「商家」に着目して開催した。雛の様式をイラスト化し、享保雛・古今雛等の商家に好まれた雛人形を紹介するとともに、各地から寄贈されたものを中心に、商家に由来する江戸から昭和期の雛人形を展示した。寄贈された雛人形については、旧蔵者の家の歴史を「ファミリーヒストリー」パネルにし、雛人形を大切にしてきた人々の想いや華やかな雛祭りの様子に焦点を当てて紹介した。



チラシ

出品リスト

出品番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
第1章 雛祭りの広がり—江戸時代のお雛さま—				
1	享保雛		江戸時代	
2	古今雛		江戸時代	
3	花見月鄙世話事	落合芳幾	万延2年（1861）	
4	五人囃子		江戸時代後期	当館蔵（尾熊家寄贈）
5	三ツ会姫ひるな遊びノ図	歌川国貞 （三代豊国）	万延2年（1861）	
6	芥子雛、雛道具		江戸時代後期～ 明治時代	当館蔵（鈴木家寄贈）

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
7	古今雛		江戸時代後期～ 明治時代	当館蔵（中井家寄贈）
第2章 雛祭りのにぎわい—明治～昭和時代のお雛さま—				
8	内裏雛		明治時代後期	当館蔵（天野家寄贈）
9	天野家雛段		明治時代～ 昭和時代初期	当館蔵（天野家寄贈）
-1	内裏雛			
-2	内裏雛			
-3	犬宮			
-4	雛道具 台火鉢			
-5	雛道具 三方瓶子			
-6	三人官女			
-7	雛道具 高坏			
-8	雛道具 菱台			
-9	雪洞			
-10	五人雅楽			
-11	五人囃子			
-12	花入			
-13	薬玉			
-14	隨身			
-15	三人仕丁			
-16	桜橘			
-17	雛道具 御所車			
-18	雛道具 三棚（書棚・厨子棚・黒棚）			
-19	雛道具 三揃（箆笥・長持・鉢箱）			
-20	雛道具 台子飾			
-21	雛道具 化粧道具			
-22	雛道具 女乗物			
-23	雛道具 茶弁当			
-24	雛道具 三棚（書棚・厨子棚・黒棚）			
-25	雛道具 懸盤			
-26	雛道具 飯器・湯桶			
-27	衣裳人形 富樫左衛門・弁慶・静 御前			
-28	衣裳人形 女三君			
-29	衣裳人形 鶴亀			
-30	衣裳人形 狸々			
-31	衣裳人形 稚児			
-32	衣裳人形 狎引			
-33	御所人形 宝船			
-34	かくれんぼ			
-35	御所人形 万歳			
-36	衣裳人形 花嫁			
-37	御所人形 花傘持			
-38	傀儡師	羽仁春水		
-39	鞍馬獅子	羽仁春水		
-40	七五三	吉野喜代二		
-41	春遊び			
-42	花見踊	名川春山		
-43	春駒			
-44	鏡獅子	鳳堂		
-45	衣裳人形 稚児			
-46	衣裳人形 禿			
-47	衣裳人形 花籠			
-48	舞姿	鳳堂		
-49	時雨傘	鳳堂		

出品 番号	作品・資料名	作者名等	制作年	所蔵
	-50 衣裳人形 鍬持			
	-51 衣裳人形 大原女			
	-52 衣裳人形 大原女			
10	天野家の雛段飾り（写真パネル）		昭和12年（1937）	個人蔵
11	市松人形 男子・女子		大正時代	当館蔵（天野家寄贈）
12	市松人形 女子		昭和時代初期	当館蔵（天野家寄贈）
13	天野家の雛飾り（写真パネル）		昭和12年（1937）	個人蔵
14	蘭陵王	池野鉄寛	昭和2年（1927）	当館蔵（天野家寄贈）
15	藤朝雛	益田盛人 彫、 西澤笛畝 彩色	大正15年（1926）	当館蔵（天野家寄贈）
16	五人雅楽	池野鉄寛	昭和4年（1929）	当館蔵（天野家寄贈）
17	立雛図	西澤笛畝	昭和2年（1927）	当館蔵（天野家寄贈）
18	天野家の雛飾り（写真パネル）		昭和11年（1936）	個人蔵
19	御所人形 這い這い		大正時代後期～ 昭和時代初期	当館蔵（天野家寄贈）
20	御所人形 鶴亀		明治時代後期～ 昭和時代初期	当館蔵（天野家寄贈）
21	御所人形 春駒		明治時代後期～ 昭和時代初期	当館蔵（天野家寄贈）
22	変わり雛、小型御所人形		大正時代後期～ 昭和時代初期	当館蔵（天野家寄贈）
	-1 小型御所人形 犬宮持			
	-2 小型御所人形	岡本玉水		
	-3 小型御所人形 花籠	岡本玉水		
	-4 小型御所人形	岡本玉水		
	-5 小型御所人形 鶴抱			
	-6 金物雛	高橋千代三郎		
	-7 川字雛	巖谷小波・西澤笛畝・ 久保佐四郎 考案		
	-8 独楽鞠雛			
	-9 奈良一刀彫雛			
	-10 ひよこ雛	久保佐四郎		
	-11 角雛			
23	市松人形 男子		明治22年（1889）	当館蔵（小谷家寄贈）
24	浮世人形 竜宮城、小野小町		大正時代～ 昭和時代初期	当館蔵（工藤幸子氏寄贈）
25	万歳		昭和時代初期	当館蔵（工藤幸子氏寄贈）
26	芥子雛十五人揃		昭和13年（1938）頃	当館蔵（宗近清子氏寄贈）
27	内裏雛、三人官女、五人囃子		昭和12年（1937）	当館蔵（菅野治子氏寄贈）
28	最上家の雛飾り（写真パネル）		昭和12年（1937）	個人蔵

※所蔵の（ ）は旧蔵者を記した。

III 普及事業

当館では、人形文化の普及を目的とした講座・ワークショップ・展示解説を開催しているほか、学校との連携事業、その他イベント事業を実施している。

1 講座・ワークショップ

五感を使って人形作りや人形に関する文化を学ぶ体験・実験型ワークショップの「にんラボ」シリーズや、人形や当館の所蔵品に関わる様々なモチーフを取り入れ、いろいろなものを作る「つくろう」シリーズのワークショップを開催している。



「にんラボ はだのヒミツ・
胡粉編」



「つくろう、犬宮
～いぬばこの絵付け体験～」



「つくろう、ポチ袋
～天神様ゆかりのウソドリ編～」

講座・ワークショップ一覧

年度	講座・ワークショップ	日時	講師	参加費	対象	参加者
令和2年度	にんラボ なかのヒミツ・桐粉編 伝統的な桐塀頭の生地作りに挑戦する講座。	11月14日(土) 14:00～15:30	松口一栄氏 (人形師)	無料	小・中学生 (小学3年生以上)	9人
	つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウソドリ編～ 天神様ゆかりのウソドリをモチーフにした縁起のよいポチ袋を作るワークショップ。	12月6日(日) 10:00～12:00	当館学芸員	200円	小学5年生以上	6人
令和3年度	にんラボ はだのヒミツ・胡粉編 胡粉について学び、観察し、扱う講座。	8月7日(土) 14:00～15:30	桐原瑛奈氏 (文化財修復技術者)	200円	小・中学生 (小学3年生以上)	10人
	雛道具の世界 組香をやってみよう～源氏香～ 組香を体験し、人形文化に関する知識・教養を深める講座。	11月14日(日) 午前の部: 10:00～12:00 午後の部: 14:00～16:00	安藤綾冠氏 (安藤家御家流家元)	1,500円	小学5年生以上	午前の部: 8人 午後の部: 10人
	つくろう、犬宮～いぬばこの絵付け体験～ にんばくオリジナル犬宮型に絵付けをするワークショップ。	11月23日(火・祝) 14:00～16:00	当館学芸員	500円	小学5年生以上	20人
	つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウソドリ編～ 天神様ゆかりのウソドリをモチーフにした縁起のよいポチ袋を作るワークショップ。	12月11日(土) 14:00～16:00	当館学芸員	200円	小学5年生以上	5人
令和4年度	つくろう、御殿玩具～ふくら雀の絵付け体験～ にんばくオリジナルふくら雀型に絵付けをするワークショップ。	5月8日(日) 14:00～16:00	当館学芸員	600円	小学3年生以上	17人
	つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウソドリ編～ 天神様ゆかりのウソドリをモチーフにした縁起のよいポチ袋を作るワークショップ。	11月27日(日) 14:00～16:00	当館学芸員	200円	小学3年生以上	9人
	雛道具の世界 組香をやってみよう～関鶏香～ 組香を体験し、人形文化に関する知識・教養を深める講座。	3月12日(日) 午前の部: 10:00～12:00 午後の部: 14:00～16:00	安藤綾冠氏 (安藤家御家流家元)	1,500円	小学5年生以上	午前の部: 9人 午後の部: 10人
令和5年度	つくろう、御殿玩具～ふくら雀の絵付け体験～ にんばくオリジナルふくら雀型に絵付けをするワークショップ。	5月7日(日) 14:00～16:00	当館学芸員	600円	小学3年生以上	13人
	つくろう、犬宮～いぬばこの絵付け体験～ にんばくオリジナル犬宮型に絵付けをするワークショップ。	8月26日(土) 14:00～16:00	当館学芸員 当館ボランティア	600円	小学5年生以上	14人
	つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウソドリ編～ 天神様ゆかりのウソドリをモチーフにした縁起のよいポチ袋を作るワークショップ。	12月3日(日) 10:00～12:00	当館学芸員 当館ボランティア	200円	小学5年生以上	10人

2 学校見学

さいたま市内小学校を中心に、校外学習等の授業の一環として見学を受け入れている。見学日当日において、館内の展示室1・2、展覧会開催中であれば展示室3の見学、人形作りを解説した映像視聴、岩槻の人形にまつわる講話の3つのセクションをクラスごとに実施した。

展示室1・2、映像視聴、講話において、職員、ボランティアなどによる解説を実施し、生徒の人形に対する理解を深めた。より良い見学になるよう「さいたま市岩槻人形博物館（にんぱく）学習シート」を作成し、展示している人形に関する出

題や、お気に入りの人形をスケッチできるページを設け、希望校に配布した。

【令和4年度までの学校見学実績】

令和元年度	小学校	なし
	中学校	なし
令和2年度	小学校	14校・1,098人
	中学校	なし
令和3年度	小学校	33校・3,044人
	中学校	3校・189人
令和4年度	小学校	42校・3,993人
	中学校	3校・233人

令和5年度学校見学一覧

No.	日 程	学校名	人数	学年等	クラス数
1	5月26日（金）	筑波大学附属中学校	224	中学1	5
2	6月2日（金）	東京都立立川学園	41	中学1・2	6
3	6月8日（木）	土合小学校	114	3	4
4	6月14日（水）	河合小学校	26	4	1
5	6月20日（火）	草加市立新栄小学校	67	4	2
6	6月22日（木）	東宮下小学校	23	3	1
7	6月23日（金）	草加市立西町小学校	112	4	3
8	6月28日（水）	春岡小学校	160	3	5
9	6月29日（木）	草加市立新田小学校	83	4	3
10	9月1日（金）	春日部市立内牧小学校	90	4	3
11	9月6日（水）	北浦和小学校	131	3	4
12	9月7日（木）	大谷口小学校	130	3	4
13	9月7日（木）	春日部市立正善小学校	65	4	2
14	9月8日（金）	新開小学校	56	3	2
15	9月12日（火）	原山小学校	108	3	3
16	9月13日（水）	常盤小学校	190	3	6
17	9月14日（木）	植水小学校	60	3	2
18	9月15日（金）	春日部市立豊野小学校	58	4	2
19	9月20日（水）	草加市立花栗南小学校	83	4	3
20	9月21日（木）	東大成小学校	81	3	3
21	9月26日（火）	草加市立八幡小学校	132	4	4
22	9月27日（水）	新和小学校	32	3	1
23	9月28日（木）	越谷市立大袋北小学校	86	4	3
24	9月29日（金）	上里小学校	45	3	2
25	10月10日（火）	草加市立川柳小学校	93	4	3
26	10月12日（木）	太田小学校	100	2	3
27	10月13日（金）	泰平小学校	104	3	3
28	10月17日（火）	大久保小学校	33	3	1
29	10月18日（水）	鈴谷小学校	108	3	3
30	10月20日（金）	田島小学校	85	3	3
31	10月24日（火）	谷田小学校	103	3	3
32	10月26日（木）	浦和別所小学校	185	3	6

No.	日 程	学校名	人数	学年等	クラス数
33	10月31日(火)	仲本小学校	156	3	5
34	11月2日(木)	針ヶ谷小学校	107	3	3
35	11月16日(木)	春日部市立武里南小学校	63	4	2
36	11月17日(金)	芝川小学校	103	3	3
37	11月28日(火)	春日部市立牛島小学校	73	4	2
38	11月30日(木)	大宮別所小学校	134	3	4
39	1月16日(火)	美園小学校	191	3	6
40	1月17日(水)	徳力小学校	37	3	1
41	2月8日(木)	草加市立両新田小学校	67	4	2
42	2月22日(木)	川通小学校	17	3	1

合計

3,956

3 ボランティアの活動

当館のボランティア(愛称:にんぼ〜ら)は、博物館と人、資料(作品)と人をつなぎ、来館者の興味の扉を開くサポートをし、来館者が資料(作品)をより深く味わい、楽しむためのお手伝いを目的として、令和2年度に設立した。主な活動としては、常設展示解説や講座・ワークショップの運営補助、学校見学での解説がある。



学校見学での解説



常設展示解説



講座・ワークショップの運営補助

活動一覧

年度 (登録人数)	内容	実施回数	参加人数
令和2年度 (4人)	研修	14	44
	ワークショップ	2	5
	展示解説	-	-
	学校見学	2	4
令和3年度 (7人)	研修	10	37
	ワークショップ	9	33
	展示解説	-	-
	学校見学	35	49
令和4年度 (11人)	研修	11	48
	ワークショップ	7	30
	展示解説	-	-
	学校見学	47	49
令和5年度 (16人)	研修	11	32
	ワークショップ	5	23
	展示解説	22	29
	学校見学	43	48

4 イベント

当館や人形文化により親しみをもってもらうため、普及事業の一環として以下のイベントを開催した。

主なイベント一覧

年度	開催日	イベント名	参加者
令和3年度	8月22日（日）	子ども大学SAITAMA（午前午後計2回） 主催：子ども大学SAITAMA実行委員会	27
	3月19日（土）	日本工芸会人形部会による研究会 ギャラリートーク	32
令和4年度	7月21日（木） ～8月21日（日）	夏休み子ども人形博物館 期間限定の「にんぱくワークシート」を配布 小中学生の利用者は、観覧料無料	188
	8月6日（土）	テレビ埼玉「匠の道」対談（番組公開収録） 9月19日にテレビ放映	-
	11月26日（土）	大宮盆栽美術館との連携事業 特別講演会「暮らしと人形—それはどこに置かれてきたか」 講師：木下直之氏（静岡県立美術館館長、神奈川大学特任教授、東京大学名誉教授） 場所：当館会議室（YouTubeでもライブ配信）	43
	3月25日（土）	ロビーコンサート（午前午後計2回） 主催：公益財団法人さいたま市文化振興事業団	111
令和5年度	4月11日（火） ～5月5日（金・祝）	映像「西澤笛畝及びそのコレクション紹介」の上映 場所：展示室3及び当館会議室	-
	9月23日（土・祝）	ロビーコンサート（午前午後計2回） 主催：公益財団法人さいたま市文化振興事業団	92
	11月3日（金・祝） ～11月10日（金）	ヨロ研カフェとの連携事業 場所：ヨロ研カフェ 当館及び特別展のPRとして、当館の抽選会に参加できる コースターを配布	-
	11月22日（水）	ナイトミュージアム（19時～20時） 市職員を対象として実施	52

5 館外イベント出展事業

民間企業等の協力のもと、当館及び人形文化のPRを行った。

令和5年度館外イベント出展一覧

開催日	イベント名等	場所	内容
7月15日（土）	WATSU ストリートマルシェ	岩槻駅東口前 クレセントモール	当館及び特別企画展のPRとしてチラシを配布
8月2日（水） ～8月31日（木）	パネル展示	埼玉県庁本庁舎	当館及び特別企画展のPRとしてパネル展示、チラシを配布
10月17日（火） ～11月20日（月）	人形レプリカ・ パネル展示	岩槻区役所	当館及び特別展のPRとして、 当館所蔵の人形のレプリカ及び パネルを展示
10月21日（土）	WATSU ストリートマルシェ	岩槻駅東口前 クレセントモール	当館及び特別展のPRとして チラシを配布
11月24日（金） ～12月1日（金）	人形レプリカ・ パネル展示	さいたま市役所本庁舎	当館及び特別展のPRとして、 当館所蔵の人形のレプリカ及び パネルを展示
2月17日（土）	WATSU ストリートマルシェ	岩槻駅東口前 クレセントモール	当館及び企画展のPRとして チラシを配布

IV 調査研究・資料収集・保存事業

1 調査研究

人と人形の歴史を探り、未来へと人形文化を継承するため、当館では以下の調査研究を行っている。

- ・人形文化及び所蔵資料に係る調査研究
- ・特別展・企画展等に係る調査研究
- ・購入及び寄贈による資料収集に係る調査研究
- ・『紀要』の発行に係る調査研究
- ・ワークショップ及び講座等の教育普及事業に係る調査研究

2 購入資料

当館では、展覧会の充実及び調査研究に資するため、人形資料等を購入している。いずれもさいたま市人形資料等選考評価委員会を経て、当館所蔵品として承認された。

購入資料件数

年度	人形等	絵画・書誌等	人形製作道具等	計
令和元年度※	0	3	0	3
令和2年度	3	5	0	8
令和3年度	5	5	0	10
令和4年度	13	0	0	13
令和5年度	2	12	0	14
計	23	25	0	48

※令和元年度は、当該年度のうち開館以後に取得した件数。

3 寄贈資料

当館では、展覧会の充実及び調査研究に資する人形資料等の寄贈を受け入れている。寄贈の申し出に際しては、収集方針に則るとともに、必要に応じて、さいたま市人形資料等選考評価委員会に諮り、受け入れを行っている。

寄贈資料件数

年度	人形等	絵画・書誌等	人形製作道具等	計
令和元年度※	0	0	0	0
令和2年度	33	22	1	56
令和3年度	8	2	5	15
令和4年度	85	18	4	107
令和5年度	8	3	2	13
計	134	45	12	191

※令和元年度は、当該年度のうち開館以後に受入れた件数。

4 資料修復

当館では、現状維持を基本とした文化財修復の理念のもと、博物館開館前の平成21年（2009）度から継続的に修復を行ってきた。当館における修復技術の基本方針を定め、それに則り、文化財修復技術者（令和元年度以前は業務委託、令和2年度より会計年度任用職員。令和2年度は3名、令和3年度より4名）により人形等の修復を実施している。館内では取り扱いが難しい修復（特に絵画・書誌等）に関しては委託業者に依頼している。

修復資料件数

年度	人形等	絵画・書誌等	人形製作道具等	計
令和元年度※	27	3	0	30
令和2年度	55	12	0	67
令和3年度	34	5	0	39
令和4年度	35	12	0	47
令和5年度	40	14	0	54
計	191	46	0	237

※修復事業は年度単位で実施しているため、令和元年度は当該年度のうち開館以前に行った修復も含む。

5 資料利用

館外貸出一覧

年度	貸出先	目的	資料
令和2年度	須賀川市立博物館	同館主催企画展「雛人形展 健康への願いを込めて」(令和3年2月2日～3月20日)に出品するため	天兒、這子、立雛、立雛、寛永雛
令和5年度	渋谷区立松濤美術館	同館主催「私たちは何者? ボーダレス・ドールズ」展(令和5年7月1日～8月27日)に出品するため	這子、天兒、寛永雛、御所人形 太鼓持、奈良人形 葵の上、久保佐四郎「朧夜」、野口光彦「大御代雛」、野口光彦「童心戯笛」
	須賀川市立博物館	同館主催冬季企画展「雛人形展 特別展示 人形の美 京の雅」(令和6年2月6日～3月10日)に出品するため	次郎左衛門雛、振袖姿、有職雛、御所人形 立子 男子、御所人形 獅子舞

V 広報活動

1 ニュースレター「IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS」

発行：年2回

仕様：A3判2つ折り（A4判）

内容：展覧会情報や、展示室1・2の注目の人形を紹介した「常設展Close-up」、ワークショップや関連イベント等をまとめた「イベントInformation」、当館学芸員が執筆した「学芸員の研究ノート」等

2 展覧会スケジュール

発行：年1回（令和5年度から発行）

仕様：W.200×H.210mm 2つ折り（仕上がり
W.100×H.210mm）

内容：展示室3で開催する特別展・企画展等の概要や、常設展1・2の情報等

3 SNS

公式Instagramにて展示中の人形を紹介する記事や、展示・イベント情報の告知のほか、当館の周辺情報を積極的に発信している。令和3年度には20回、令和4年度には81回、令和5年度には243回の投稿を行った。また、リール動画については令和3年度に1回、令和5年度に3回投稿した。

現在、フォロワーの約96%以上が日本在住であるが、海外にも幅広くリーチさせるため、定期的に英語による投稿も行っている。

年代別のフォロワーの割合は45～54歳の年代が27%と最も多く、55～64歳が約25%、35～44歳の年代が約19%と、特に中高年層の興味関心の高さがうかがえる。

開設日：令和3年 8月26日

運用開始日：令和3年10月 5日

4 WEBサイト

博物館システムの稼働により平成31年2月14日から博物館の開館を告知するティザーサイトを公開し、令和2年2月22日より本サイトの運営を開始した。

WEBサイトの内容は以下のとおりである。

- ・利用案内（開館時間、料金案内、交通案内等）
- ・施設概要（館内案内図等）
- ・企画展・常設展の案内
- ・所蔵コレクションの紹介
- ・キッズページ（クイズ）
- ・お知らせ

なお、利用案内、施設概要、常設展のページについては、サイト内で英語に切り替えることが可能となっている。

当館WEBサイトではお知らせページを活用し、臨時の利用案内のほか、常設展の展示替え情報や、イベント開催の告知など、日常的に更新を行っている。

また、新型コロナウイルス感染症に係る案内については、来館者へのお願いのほか、小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校に対し臨時休校の要請が出されたことを受け、在宅でも学びの場を提供するコンテンツを公開する等、積極的な情報発信を行った。

5 主な広報実績

令和元年度から令和4年度まで

媒体	主な掲載・放映メディア
テレビ・ラジオ	テレビ埼玉、J:COM、FMNACK5、TBSラジオ、CityFMさいたま、TBSラジオ、NHKなど
新聞	毎日新聞、東京新聞、埼玉新聞、読売新聞、朝日新聞、産経新聞、日刊スポーツ新聞など
雑誌・書籍・フリーペーパー	株式会社KADOKAWA「埼玉ウォーカー」、株式会社創樹社美術出版「小さな蕾」、東武鉄道株式会社「マンスリーと〜ぶ」、文化出版局「ミセス」、株式会社交通新聞社「旅の手帖」、株式会社ハースト婦人画報社「美しいキモノ」、株式会社リクルート「ホットペッパー」、Quintessentialr「Quintessentialr News Letter」、株式会社アドファースト「たまログ」、一般社団法人日本人形協会「にんぎょう日本」、株式会社新潮社「週刊新潮」、株式会社JTBパブリッシング「るるぶ埼玉」、一般社団法人ひなまちデザイン「ら・みやび」、株式会社地球の歩き方「地球の歩き方J07 埼玉」など
WEBサイト	東武トップツアーズ株式会社「東武鉄道健康ハイキング」、公益社団法人さいたま市観光国際協会「国際交流・多文化共生サイト」、株式会社丹青社「インターネットミュージアム」、文化庁・宮内庁・読売新聞「紡ぐプロジェクト」、一般社団法人埼玉県物産観光協会「ちょこたび埼玉」、株式会社KADOKAWA「ウォーカープラス」、楽天グループ株式会社「楽天旅アプリ PATW」、アクトインディ株式会社「いこーよ」など
その他	東武鉄道X（旧Twitter）、彩の国実業団駅伝ポスターなど

令和5年度

媒体	主な掲載・放映メディア
テレビ・ラジオ	テレビ東京「出沒！ アド街ック天国」、テレビ埼玉「ニュース1155」、NHK「おかえり天気」など
新聞	読売新聞、産経新聞、朝日新聞、日本経済新聞、埼玉新聞、東京新聞
雑誌・書籍・フリーペーパー	株式会社旺文社「まっふる 旅でめぐる法然上人」、株式会社交通新聞社「散歩の達人」、株式会社文藝春秋「週刊文春」、株式会社ジー・ピー「改訂新版 東京のちいさな美術館めぐり」、株式会社エクスナレッジ「東京のちいさな美術館・博物館・文学館」、東武鉄道株式会社「マンスリーと〜ぶ」、一般社団法人ひなまちデザイン「ら・みやび」、株式会社アドファースト「たまログ」、株式会社中広メディアソリューションズ「情報誌ARIFT」など
WEBサイト	一般社団法人埼玉県物産観光協会「ちょこたび埼玉」、株式会社ナビタイムジャパン「NAVITIME Travel」、公益社団法人さいたま観光国際協会「さいたま市公式観光サイト」、株式会社ハースト婦人画報社「婦人画報デジタル」、一般社団法人Acoreおおみや「Acoreおおみや」、株式会社丹青社「インターネットミュージアム」、株式会社ドワンゴ「ニコニコ美術館」など
その他	埼玉高速鉄道交通広告など

VI 入館者数

年度	一般	高大生・ 65歳以上	小中学生	講座・学校・視察・ 年間パスポート等	開館日数	1日あたりの 入館者数	合計
令和元年度	3,144	4,000	314	3,274	9	1,192	10,732
令和2年度	10,327	10,863	1,066	8,915	259	120	31,171
令和3年度	9,174	8,023	1,147	10,910	308	95	29,254
令和4年度	8,743	8,234	978	14,466	304	107	32,421
令和5年度	10,408	11,337	1,210	16,701	310	128	39,656

※開館からの累計入館者数（～R6.3.31） 143,234

VII ミュージアムグッズ

令和元年度から同5年度までの間に取扱いをしたミュージアムグッズの一覧は以下のとおり。（価格は税込み）

No.	グッズ名	価格
1	ポストカード／犬宮	¥120
2	ポストカード／御殿玩具 犬	¥120
3	ポストカード／古今雛	¥120
4	ポストカード／紫檀象牙細工蒔絵雛道具	¥120
5	ポストカード／御所人形 裸童	¥120
6	ポストカード／神功皇后・武内宿禰・従者	¥120
7	ポストカード／次郎左衛門頭立雛	¥120
8	ポストカード／矢の根 久保佐四郎作	¥120
9	ポストカード／御所人形 打掛姿	¥120
10	ポストカード／市松人形 女子	¥120
11	ポストカード／童心戯笛 野口光彦作	¥120
12	ポストカード／天野家雛段	¥120
13	ポストカード／御所人形 鶏合	¥120
14	ポストカード／土人形 花笠踊	¥120
15	ポストカード／稚児雛十五人揃 野口光彦作	¥120
16	ポストカード／おもちゃ十二月 川崎巨泉作	¥120
17	ポストカード（変型）／巻藁	¥270
18	ポストカード（大）／雛段飾り	¥300
19	ポストカード／瀧津瀬 中村信喬作	¥200
20	ポストカード／紅絵売り 岡本玉水作	¥120
21	ポストカード／内裏雛（天野家）	¥120
22	ポストカード／抱擁 平田郷陽作	¥150
23	ポストカード／独楽 平田郷陽作	¥150
24	クリアファイル（A5）／犬宮	¥200
25	クリアファイル（A5）／御所人形 つくね	¥200
26	クリアファイル（A5）／桃太郎 平田郷陽作	¥200
27	クリアファイル（A5）／御所人形 春駒	¥200
28	クリアファイル（A4）／御所人形 鶏合	¥350
29	クリアファイル（A4）／抱擁 平田郷陽作	¥350
30	マグネット／犬宮	¥800
31	マグネット／御殿玩具 犬	¥400
32	マグネット／御所人形 つくね	¥400
33	マグネット／御所人形 春駒	¥400
34	ワッペン／犬宮	¥1,000
35	ワッペン／矢の根 久保佐四郎作	¥550
36	マスキングテープ／犬宮	¥400
37	マスキングテープ／御所人形 つくね	¥400

No.	グッズ名	価格
38	一筆箋／犬宮	¥400
39	一筆箋／人形作り	¥500
40	一筆箋／源氏十二ヶ月之内 弥生 歌川国貞（三代豊国）作	¥400
41	ブックマーク／人形作り	¥250
42	メモ帳／御殿玩具 犬	¥400
43	ロディア メモ帳／おもちゃ百種 淡島寒月作	¥850
44	榛原 蛇腹便箋レターセット／御殿玩具 ふくら雀	¥800
45	紙クリップ／宇土張子 横綱	¥350
46	紙クリップ／土人形 花笠踊	¥350
47	犬宮絵付けキット	¥1,500
48	マグボトル／白／ロゴ	¥1,000
49	マスク／白／ロゴ	¥400
50	キーホルダー／ロゴ	¥700
51	ミニハンカチ／起上り雛	¥500
52	てぬぐい／ロゴ	¥1,300
53	エコバッグ／黒／ロゴ	¥900
54	エコバッグ／赤／ロゴ	¥900
55	図録／さいたま市岩槻人形博物館コレクション名品選	¥1,500
56	図録／特別展「こどものかたち—創作人形の力展 ～平田郷陽・野口光彦を中心に～」	¥1,000
57	図録／特別展「西澤笛畝—人形をひのき舞台へ」	¥1,500
58	図録／特別展「人形作り いろはの“い”～後世に伝えたい桐塑の技～」	¥1,400
59	図録／特別展「岡本玉水 人形芸術にかけた生涯—御所人形から玉水人形へ—」	¥1,500
60	ガイドブック／さいたま市岩槻人形博物館ガイドブック／日本語	¥500
61	ガイドブック／さいたま市岩槻人形博物館ガイドブック／英語	¥500
62	にんぱく 飴／ロゴ・御所人形 裸童	¥500
63	ショッパー／ロゴ	¥10

VIII 条例・規則

○さいたま市岩槻人形博物館条例

平成30年3月26日

条例第34号

改正 平成31年3月13日条例第2号

(設置)

第1条 人形に関する知識及び教養の向上を図り、人形文化の振興に寄与するため、さいたま市岩槻人形博物館（以下「博物館」という。）をさいたま市岩槻区本町6丁目1番1号に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 人形その他の人形文化に関する資料（以下「人形資料」という。）の収集、保存及び展示に関すること。
- (2) 人形文化に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 講演会、講習会等の開催その他の人形文化に関する普及活動に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の設置の目的を達成するために必要な事業

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

2 市長は、前項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館することができる。

(開館時間等)

第4条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、展示室へ入場することができる時間は、閉館する30分前までとする。

2 市長は、前項の規定による開館時間又は入場時間を、事情により変更することができる。

(観覧料)

第5条 博物館が展示する人形資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、市長は、特別の人形資料（博物館が所蔵しない人形資料であって、その展示に特別の費用を要すると市長が認めるものをいう。別表第1において同じ。）を展示するときは、別表第1に定める額の2倍に相当する額の範囲内において別に観覧料の額を定めることができる。

(特別使用の許可等)

第6条 博物館が所蔵している人形資料について、撮影又は原板の使用をしようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別使用料を納付しなければならない。

(会議室等の利用)

第7条 会議室及び附属設備（以下「会議室等」という。）は、博物館の事業に供していない期間については、博物館の設置の目的に即した利用に供することができる。

2 会議室を引き続いて利用することができる期間は、7日（附属設備にあっては、会議室を利用する期間と同一の期間）とする。ただし、市長は、事情によりこれを変更することができる。

3 会議室等を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

4 市長は、前項の許可（変更の許可を含む。）をする場合において、会議室等の管理上必要な条件を付することができる。

5 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、会議室等の利用を許可しない。

- (1) 博物館の設置の目的に反するとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがある

とき。

(3) 会議室等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(4) 物品の販売を目的とするとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があるとき又は市長が適当でないと認めるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 前条第3項の規定による許可（変更の許可を含む。）を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別の設備等の制限)

第9条 利用者は、会議室等を利用するに当たって、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

(利用許可の取消し等)

第10条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当するとき又は会議室等の管理上特に必要があるときは、当該許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は当該許可を取り消すことができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(2) 偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。

(3) 利用の許可の条件又は関係職員の指示に従わないとき。

2 前項の規定による措置によって利用者に損害が生じることがあっても、市は、その責めを負わない。

(使用料の納付)

第11条 利用者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

(原状回復の義務)

第12条 利用者は、会議室等の利用が終わったときは、速やかに当該会議室等を原状に回復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。第10条第1項の規定により利用の停止又は許可の取消しの処分を受けたときも、同

様とする。

2 利用者が、前項の規定による義務を履行しないときは、市長において原状に回復し、これに要した費用は、利用者の負担とする。

(入館の禁止等)

第13条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、博物館への入館を禁止し、又は退館を命じることができる。

(1) 博物館内の秩序を乱し、若しくは他の入館者に迷惑を及ぼし、又はこれらのおそれがあるとき。

(2) 人形資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、施設の管理上支障があるとき。

(観覧料等の減免)

第14条 市長は、必要があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条第2項の特別使用料及び第11条の使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第15条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償の義務)

第16条 故意又は過失により人形資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(委員会の設置)

第17条 博物館の運営方針及び事業計画に関する事項について調査審議するため、さいたま市岩槻人形博物館運営委員会（次項及び第3項において「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、博物館の運営方針及び事業計画に関する重要事項について、市長に意見を述べることができる。

3 委員会は、委員10人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係団体の代表者
- (3) 関係機関の職員
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 5 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成32年2月22日から施行する。

附 則 (平成31年3月13日条例第2号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。ただし、第33条の規定は、平成32年2月22日から施行する。

(使用料等に関する経過措置)

- 2 この条例（第1条、第10条から第12条まで、第15条、第16条、第17条（同条中第6条の改正に限る。）、第18条、第30条及び第51条から第53条までの規定を除く。）による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に行う施設の使用等に係る使用料、利用料金等（以下「使用料等」という。）で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前に行った施設の使用等に係る使用料等で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後に行う施設の使用等に係る使用料等で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

(一部改正〔平成31年条例2号〕)

区分	観覧料 (1人1回につき)		年間観覧料 (個人に限る。)
	個人	団体 (20人以上)	
一般	300円	200円	1,030円
高校生・大学生・65歳以上	150円	100円	510円
小学生・中学生	100円	50円	300円

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上65歳未満の者で、次項及び第3項に該当する者以外のものをいう。
- 2 「高校生・大学生」とは、高等学校、専修学校及びこれらに準じる学校並びに大学の生徒及び学生をいう。
- 3 「小学生・中学生」とは、義務教育諸学校の児童及び生徒をいう。
- 4 小学校就学前の者については、無料とする。
- 5 「年間観覧料」とは、同一人が1年間博物館の展示する人形資料（特別の人形資料を除く。）を観覧しようとする場合の観覧料をいう。

別表第2（第6条関係）

(一部改正〔平成31年条例2号〕)

区分		特別使用料 (1点1回につき)
撮影	学術研究用	530円
	その他	4,400円
原板使用	学術研究用	530円
	その他	3,300円

備考 原板には、電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録をいう。）を含む。

別表第3（第11条関係）

(一部改正〔平成31年条例2号〕)

会議室等	利用区分	使用料
会議室	午前（9時から12時まで）	1,740円
	午後（13時から17時まで）	2,310円
	1日	4,050円
附属設備	規則で定める額	

備考

- 1 会議室等の利用の許可に係る日のうちに休館日（搬入又は搬出のために利用する日を除く。）がある場合は、当該休館日は、使用料を徴収しない。
- 2 会議室の利用に係る搬入又は搬出に要する場合における使用料は、当該使用料の額に100分の70を乗じて得た額とする。

3 会議室の利用者が入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収する場合の会議室の使用料には、当該使用料の額に次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額を加算する。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円未満のとき 100分の50
 - (2) 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円以上のとき 100分の100
- 4 使用料を計算する場合において、使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

○さいたま市岩槻人形博物館条例施行規則

（趣旨）

第1条 この規則は、さいたま市岩槻人形博物館条例（平成30年さいたま市条例第34号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（観覧券等の交付等）

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により観覧料を納付した者に対し、観覧券（年間観覧料を納付した者に対しては、年間観覧券）を交付する。

2 市長は、条例第5条第2項の観覧料の額を納付した者に対し、特別の観覧券を交付する。

3 年間観覧券の有効期間は、交付の日から起算して1年とする。

4 博物館が1月以上休館する場合において、当該休館期間の開始日が年間観覧券の有効期間内に存するときは、当該休館期間（その期間に1月未満の端数がある場合には、これを1月とする。）に相当する期間を、年間観覧券の有効期間に加えるものとする。

5 市長は、さいたま市岩槻人形博物館（以下「博物館」という。）の事業の普及、広報その他の目的により招待券を発行することができる。

6 博物館に入館しようとする者は、観覧券若しくは招待券を提出し、又は年間観覧券を提示し

なければならない。

（特別使用許可手続）

第3条 条例第6条第1項の規定による許可（以下「特別使用許可」という。）を受けようとする者は、特別使用許可申請書（様式第1号）を市長に提出しなければならない。

2 特別使用許可は、特別使用許可書（様式第2号）を交付して行う。

3 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、条例第6条第1項に規定する特別使用（以下「特別使用」という。）を許可しない。

(1) 博物館の設置の目的に寄与すると認められないとき。

(2) 人形資料の保存に影響を及ぼすおそれがあるとき。

(3) 人形資料を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(4) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、特別使用をすることが適当でないと認めるとき。

4 市長は、特別使用許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

5 特別使用許可を受けた者は、特別使用前に特別使用料を納付しなければならない。

（会議室等利用許可等手続）

第4条 条例第7条第3項の規定による会議室等の利用の許可又は許可に係る事項の変更の許可（以下「会議室等利用許可等」という。）を受けようとする者は、会議室等利用（変更）許可申請書（様式第3号）を市長に提出しなければならない。

2 会議室等利用許可等は、会議室等利用（変更）許可書（様式第4号）を交付して行う。

3 会議室等利用許可等を受けた者は、会議室等の利用前に使用料を納付しなければならない。

（附属設備の使用料）

第5条 条例別表第3の附属設備の使用料は、別表に定めるとおりとする。

（観覧料等の減免）

第6条 条例第14条の規定により観覧料等を減額し、又は免除する場合及びその割合は、次のとおりとする。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として学生、生徒又は児童及びその引率者が利用する場合 100分の100
- (2) 市又は国、他の地方公共団体その他公共団体が主催する事業の用に供する場合 100分の100
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合 市長が相当と認める割合

2 条例第14条の規定により観覧料等の減額又は免除を受けようとする者は、観覧料等減額（免除）申請書（様式第5号）を市長に提出しなければならない。ただし、市長が提出を要しないと認めた者については、口頭で申請をすることができる。

3 市長は、前項の規定による申請を適当と認めるときは、観覧料等減額（免除）承認書（様式第6号）を交付してこれを承認する。この場合において、前項ただし書の規定による申請があったときは、当該書面の交付を省略することができる。

（観覧料等の還付）

第7条 条例第15条ただし書の規定により、観覧料等を還付する場合及びその割合は、次のとおりとする。

- (1) 人形資料又は施設の管理上特に必要があるため、市長が特別使用許可又は会議室等利用許可等を取り消した場合 100分の100
- (2) 利用者の責めに帰することができない理由による場合 市長が相当と認める割合

（遵守事項及び市長の指示）

第8条 市長は、博物館の入館者の遵守事項を定め、かつ、博物館の管理上必要があると認めるときは、入館者に対し、その都度指示することができる。

（管理上の立入り）

第9条 市長は、博物館の管理上必要があると認めるときは、会議室等の維持のため利用されている会議室に関係職員を立ち入らせることがで

きる。

（人形資料の記録管理）

第10条 市長は、博物館が保管する人形資料について、その状況を常に明らかにするため、収蔵品データベースに登録しなければならない。

（人形資料の館外貸出し）

第11条 市長は、他の博物館その他市長が適当と認めるものに対し、博物館の事業に支障をきたさない範囲で、博物館が所蔵している人形資料の貸出し（以下「館外貸出し」という。）をすることができる。

2 館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ、館外貸出許可申請書（様式第7号）を市長に提出し、許可を受けなければならない。

3 前項の許可は、館外貸出許可書（様式第8号）を交付して行う。

4 館外貸出しの期間は、60日以内とする。ただし、市長は、必要があると認めるときは、この限りでない。

（人形資料の寄贈）

第12条 市長は、博物館における展示又は研究に資する目的で、人形資料の寄贈（以下「寄贈」という。）を受けることができる。

2 寄贈をしようとする者は、寄贈申請書（様式第9号）を市長に提出するものとする。

3 市長は、寄贈を受け入れたときは、寄贈した者に対し受領書（様式第10号）を交付する。

（人形資料の寄託）

第13条 前条の規定は、人形資料の寄託（以下「寄託」という。）について準用する。この場合において、同条第2項中「寄贈申請書（様式第9号）」とあるのは「寄託申請書（様式第11号）」と、同条第3項中「受領書（様式第10号）」とあるのは「受託書（様式第12号）」と読み替えるものとする。

2 市長は、寄託を受け入れるときは、前項の規定により準用する前条第1項の規定による申請をした者と、別に定める契約書により契約を締結するものとする。

3 寄託を受けた人形資料は、博物館が所蔵する

人形資料と同様の取扱いをするものとする。ただし、その館外貸出しについては、寄託した者の承認を得なければならない。

- 4 市長は、寄託を受けた人形資料に、災害その他の不可抗力による損害があったときは、その責めを負わない。

(その他)

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、令和2年2月22日から施行する。

附 則

(施行期日等)

- 1 この規則は、公布の日から施行し、令和2年3月2日から適用する。

【公布・施行日 令和2年5月28日】

別表（第5条関係）

附属設備の使用料

名称	単位	使用料 (1回につき)	備考
拡声装置	1式	330円	ワイヤレスマイク及びマイクスタンドを含む。
プロジェクター装置	1式	650円	スクリーン、ワイヤレスマイク及びマイクスタンドを含む。
持込み電気器具用電源	1キロワットにつき	100円	単位は、持込み器具1台につき表示された消費電力による。1キロワットに満たない場合は、1キロワットとする。

備考

- 1 附属設備の使用料は、条例別表第3に規定する会議室の利用区分に従い、午前又は午後の利用をもって1回、1日の利用をもって2回として計算する。
- 2 使用料を計算する場合において、使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

さいたま市規則第77号

さいたま市岩槻人形博物館運営委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市岩槻人形博物館条例（平成30年さいたま市条例第34号）第17条に規定するさいたま市岩槻人形博物館運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員長及び副委員長)

第2条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 委員長は、委員会の会議を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席等)

第4条 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(会議の公開)

第5条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の過半数の同意を得たときは、公開しないことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、令和2年2月22日から施行する。

○さいたま市人形資料等選考評価委員会条例

平成27年3月12日

条例第25号

(設置)

第1条 市長の諮問に応じ、市が収集する人形資料等（人形、人形づくりに関する道具その他人形に関する歴史的文献等をいう。以下同じ。）に係る選考及び評価に関し必要な事項について調査審議するため、さいたま市人形資料等選考評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員6人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(臨時委員)

第4条 委員会に、人形資料等の収集に係る選考及び評価に当たって特別の事項を調査審議させるため、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、特別の事項に関する調査審議が終了するまでとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員及び議事に関係のある臨時委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

6 選考又は評価の対象となる人形資料等に係る直接の利害関係を有する委員及び議事に関係のある臨時委員は、その会議に参加することができない。

(会議の公開)

第7条 会議は、公開とする。ただし、人形資料等の選考及び評価に係る審議の手続は、公開しない。

(守秘義務)

第8条 委員会の委員及び臨時委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

さいたま市岩槻人形博物館 年報 第1号

発 行 日 令和7年（2025）3月31日

編集・発行 さいたま市岩槻人形博物館
〒339-0057 さいたま市岩槻区本町6-1-1
電 話 048-749-0222
FAX 048-749-0225



岩槻人形博物館
IWATSUKI NINGYO MUSEUM